

2-2-2. ターゲットとなる利用者像の明確化と企画立案

この節では、ターゲットとなる利用者像の明確化を行うため、既存資料（平成 24 年度観光要覧（沖縄県）、平成 24 年度観光統計実態調査（沖縄県）、戦略的リピーター創造事業報告書（平成 25 年 3 月・沖縄県））及びレンタカープロブデータ（沖縄しまたて協会）より、観光客の動向を把握した。また、沖縄県の統計データや沖縄観光コンベンションビューロー及び旅行会社のヒアリングにより沖縄修学旅行の動向を把握した。

（１）観光客の動向把握

１）観光客数の推移及び構成

沖縄県の観光客数は、平成 20 年の 593 万 4,300 人をピークに減少傾向にあったが、平成 25 年度は 658 万 300 人と過去最高を記録した。

観光客のうち、国内観光客 595 万 3,100 人（90.5%）、外国人観光客が 62 万 7,200 人（9.5%）である。国内客・外国客ともに過去最高となった。外国人観光客は、「台湾」が 41%と最も多く、次いで「韓国」が 17%、「香港」が 15%、「中国本土」が 11%である。

1 沖縄観光の推移 （１）概況（年度）

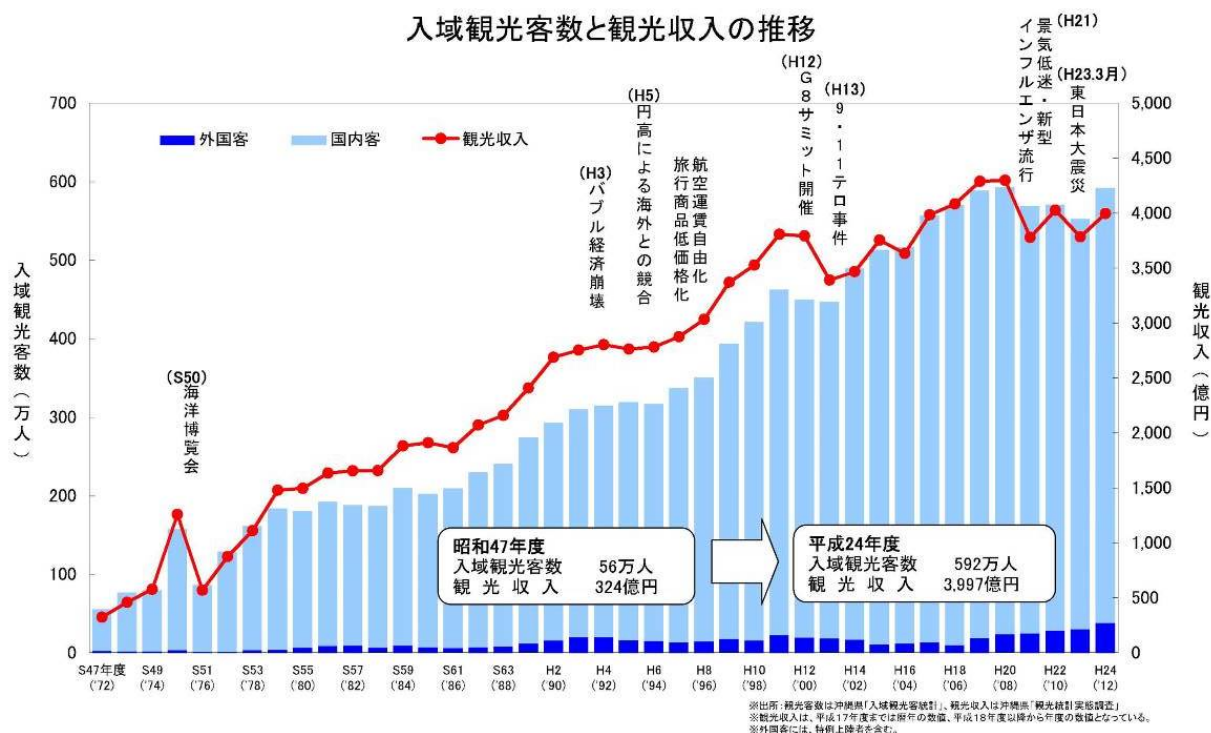


図 2-13 入域観光客数と観光収入の推移（複数回答）

出典：平成 24 年度観光要覧（沖縄県）

平成 26 年 8 月の観光客は、73 万 1,200 人で 2 年連続 70 万人超、単月の過去最高を更新している。

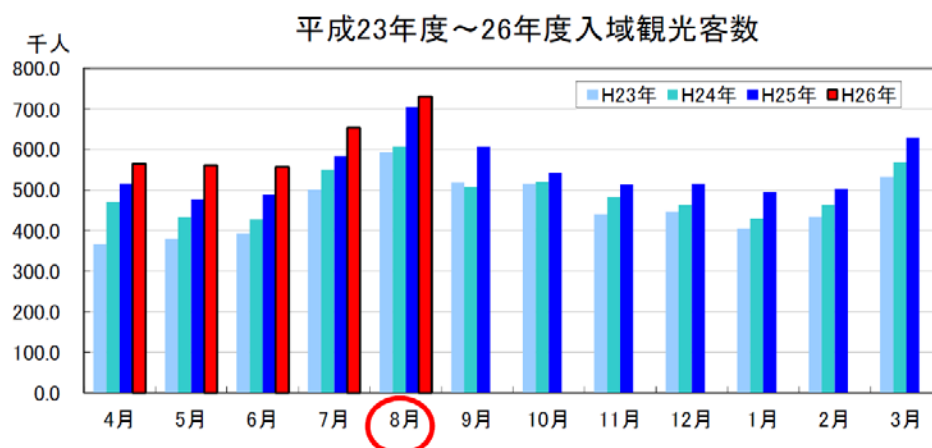


図 2-14 入域観光客の推移

出典：H26.8 入域観光客数概況（沖縄県HP）

平成 22 年から平成 25 年の 4 年間で、外国人観光客数が 28 万人から 55 万人と約 2 倍近く増加している。平成 26 年は、8 月時点において前年を上回り、60 万人に達する可能性がある。

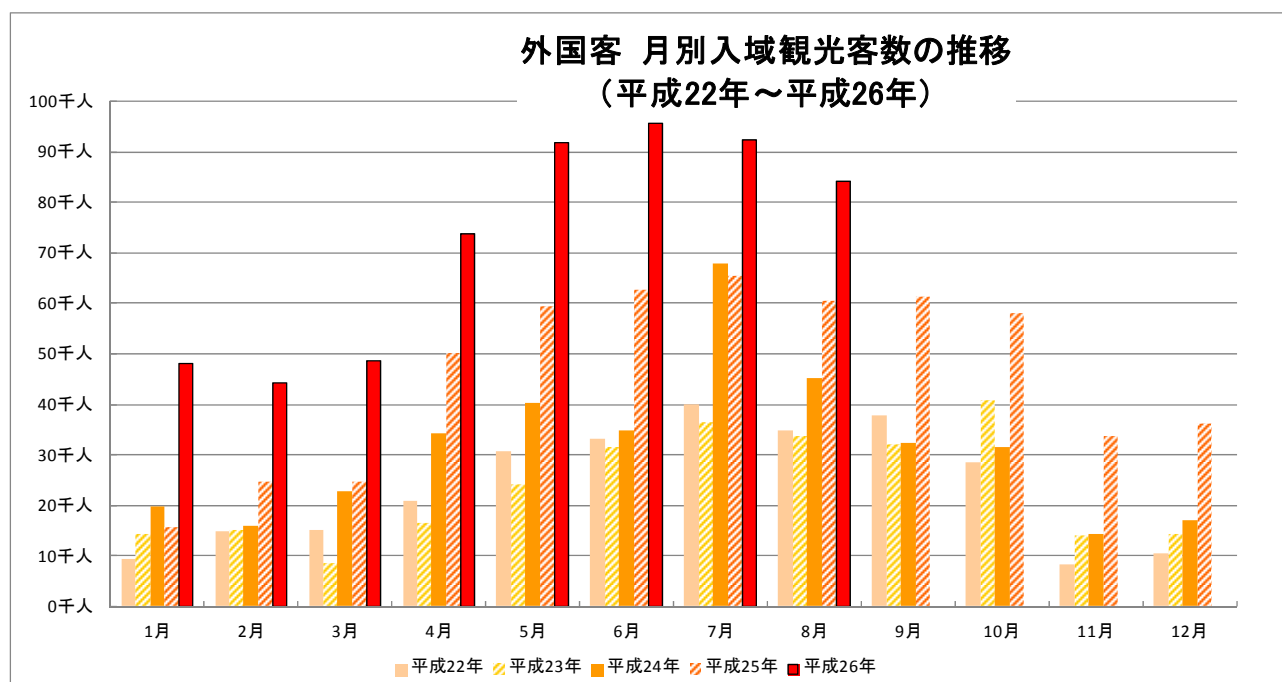


図 2-15 外国人入域観光客数の推移

出典：H26.8 外国人 月別入域観光客数（沖縄県HP）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成22年	9.4	14.9	15.1	21.0	30.6	33.3	40.1	34.9	37.8	28.6	8.4	10.6	284.7
平成23年	14.2	14.9	8.4	16.3	24.0	31.3	36.3	33.6	32.1	40.8	13.9	14.2	280.0
平成24年	19.9	16.1	22.9	34.3	40.3	34.8	67.9	45.1	32.5	31.5	14.3	17.1	376.7
平成25年	15.6	24.5	24.6	49.9	59.4	62.5	65.2	60.4	61.2	57.8	33.5	36.2	550.8
平成26年	48.1	44.3	48.7	73.9	91.7	95.5	92.3	84.2					578.7

2) 観光客の移動手段

沖縄県が実施したアンケート調査結果によると、観光客の移動手段では「レンタカー」が62.0%と最も高く、「路線バス」の利用は5.1%と低い。

一方、訪問回数別の移動手段からは、訪問回数が多いほど「観光バス」の利用が減少し「路線バス」や「自転車」などの利用率が高くなる傾向も伺える。

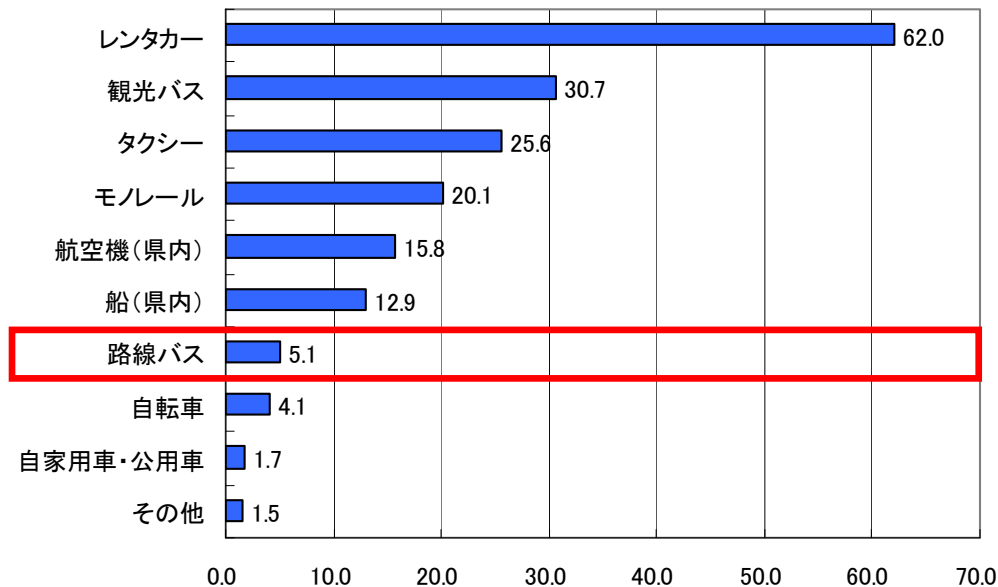


図 2-16 「観光地めぐり」の移動手段（複数回答）

出典：平成 24 年度観光統計実態調査アンケート（沖縄県）

表 2-1 訪問回数別移動手段

		訪問回数							全体
		初めて	2回目	3回目	4回目	5～9回目	10～19回目	20回以上	
交通機関	レンタカー	58.0	56.9	64.3	67.7	69.5	64.7	67.6	62.0
	観光バス	38.1	37.1	31.9	23.2	19.8	15.1	10.3	30.7
	タクシー	24.4	22.8	25.1	24.7	27.4	36.1	35.3	25.6
	モノレール	24.2	17.0	16.7	17.7	19.8	21.8	27.9	20.1
	航空機(県内)	9.3	15.5	21.3	21.7	18.6	15.1	22.1	15.8
	船(県内)	7.3	11.6	17.0	19.2	16.4	14.3	17.6	12.9
	路線バス	5.3	2.6	3.8	5.6	7.6	8.4	10.3	5.1
	自転車	1.2	2.8	6.1	7.1	6.2	5.9	10.3	4.1
	自家用車・公用車	0.6	1.9	1.5	2.5	1.7	4.2	5.9	1.7
	その他	0.3	1.7	1.2	1.0	2.5	3.4	4.4	1.5
合計		110.7	113.0	124.6	122.7	120.0	124.3	144.1	117.5

出典：平成 24 年度観光統計実態調査アンケート（沖縄県）

3) 観光客の旅行日程と訪問エリア

沖縄県に訪れる観光客の滞在日数は、平成 24 年では、2 泊 3 日（3 日）が 38.4%と最も多く、次いで 3 泊 4 日（4 日）が 28.3%であり、その合計が全体の 6 割を超えている（表 2-2 参照）。

また、どの滞在日数においても旅行最終日に南部地域を多く訪れる傾向が伺える（図 2-17 参照）。

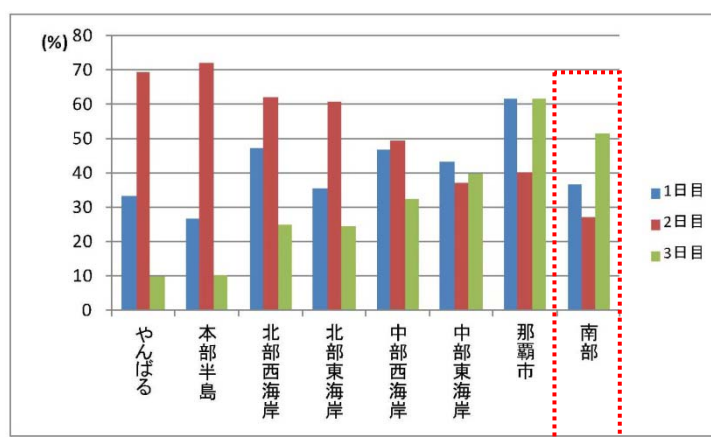
表 2-2 平均滞在日数別内訳

	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
日帰り(1日)	1.2%	0.0%	0.7%	0.6%	0.4%	0.7%	0.5%
1泊2日(2日)	12.1%	11.1%	11.3%	11.6%	9.1%	12.2%	13.8%
2泊3日(3日)	41.3%	43.0%	41.2%	40.7%	39.1%	37.1%	38.4%
3泊4日(4日)	29.3%	31.4%	30.5%	30.7%	31.9%	29.7%	28.3%
4泊5日(5日)	9.2%	8.7%	9.6%	9.8%	13.0%	12.2%	11.1%
5泊6日(6日)	2.3%	2.0%	2.7%	2.8%	3.0%	3.2%	3.5%
6泊7日(7日)	1.2%	1.1%	1.8%	1.2%	1.3%	1.5%	1.4%
7泊以上(8日以上)	3.4%	2.6%	2.3%	2.5%	2.2%	3.4%	2.9%

※出所：沖縄県「観光統計実態調査」(H18年度は航空機内で行った大規模調査による数値)

出典：平成 24 年度観光要覧（沖縄県）

図表 VI-2-109 各エリアを訪れた日にち（2泊3日）



図表 VI-2-110 各エリアを訪れた日にち（3泊4日）

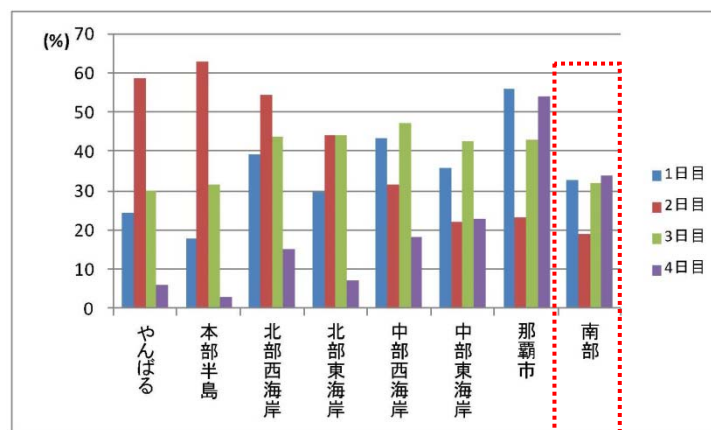


図 2-17 滞在日数別各エリアを訪れた日にち

資料：戦略的リピーター創造事業報告書 平成 25 年 3 月（沖縄県）

4) 旅行形態の推移

団体旅行が占める割合が年々減少する一方、フリープラン型パック旅行や個人旅行が占める割合が増加している。自由に行動できる旅行形態が求められている傾向がある。

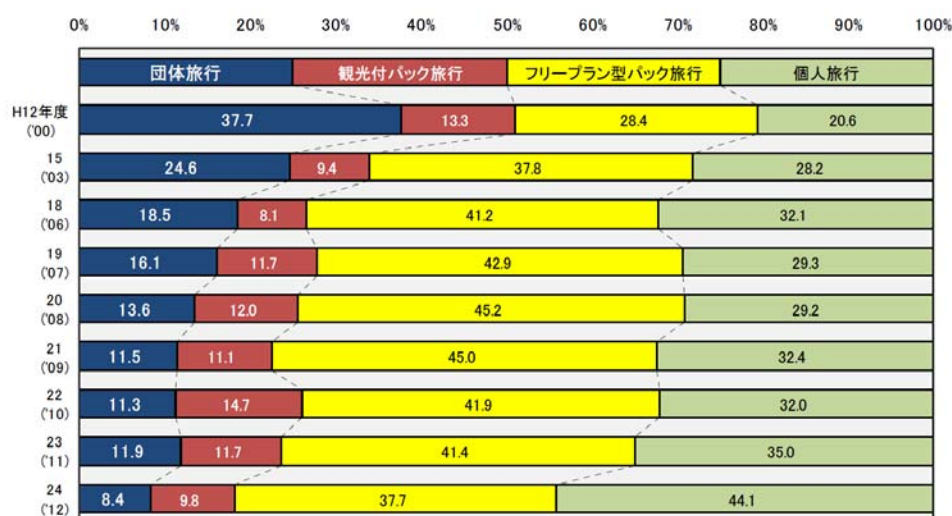


図 2-18 旅行形態の変化

5) 旅行内容別推移

観光地めぐりやショッピングなど観光目的での旅行が減少している一方、仕事での来沖が増加している。

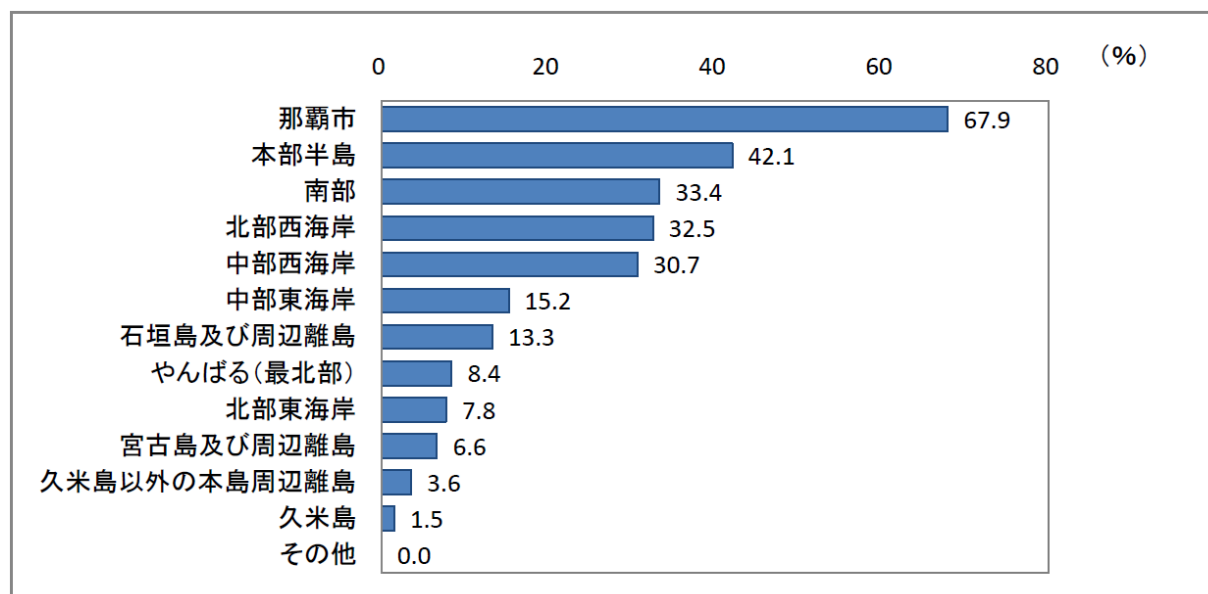
表 2-3 沖縄県への旅行目的

活動内容(複数回答)	H12年度	H15年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
観光地めぐり	73.7	72.1	68.4	68.2	68.0	61.3	65.9	62.0	60.1
戦跡地参拝	19.8	16.3	12.2	12.7	10.2	9.9	10.2	10.3	9.5
海水浴等	28.5	34.1	27.4	24.5	25.1	25.2	32.1	27.9	24.5
マリンレジャー	17.1								
ダイビング	9.3	8.7	7.9	6.5	7.6	8.7	11.7	8.5	9.5
保養・休養	22.2	17.6	16.8	19.1	23.2	26.1	26.7	23.5	25.3
スパ・エステ	-	-	3.8	4.4	4.0	3.4	4.3	4.4	3.6
ゴルフ	4.8	4.1	4.4	4.7	4.0	3.8	3.8	4.3	3.9
釣り	2.9	1.7	1.9	1.5	1.3	1.2	1.8	1.6	1.5
キャンプ	0.8	0.7	0.6	0.6	0.7	-	0.2	0.4	-
エコツアー	-	1.4	1.4	2.0	1.6	1.8	1.9	1.5	2.3
ショッピング	33.0	44.4	33.4	37.7	26.7	26.7	34.1	30.0	23.9
沖縄料理を楽しむ	-	-	38.8	39.9	40.3	38.1	40.8	42.6	39.1
新婚旅行	-	1.3	1.5	1.2	1.4	1.6	2.2	1.6	1.3
ウェディング	-	1.3	2.1	1.4	2.3	2.4	2.0	2.2	2.0
会議・研修	9.8	6.6	6.4	6.2	9.1	7.2	6.2	6.9	6.8
伝統工芸・芸能体験	-	-	-	-	-	6.1	-	-	6.2
イベント・伝統行事	4.0	4.0	4.6	4.8	3.1	3.3	4.3	4.9	4.6
仕事	8.0	11.0	11.6	9.4	10.7	11.1	8.9	11.1	10.1
スポーツ大会	1.8	1.5	1.7	0.7	1.2	1.5	3.1	1.1	0.8
帰省・親戚訪問	11.0	6.3	6.6	4.4	4.8	4.6	4.1	4.8	5.5
その他	3.9	4.9	3.6	6.4	7.4	5.7	6.8	7.0	7.5

※出所：沖縄県「観光統計実態調査」（H12年度、H15年度、H18年度は航空機内で行った大規模調査による数値）

6) 訪問地域

訪問地域については、「南部」は「那覇市」「本部半島」について3位である。



(注) 移動で通過しただけの場所は除く。構成比は無回答割戻し後。

図 2-19 訪問地域

出典：平成 24 年度観光統計実態調査（沖縄県）

7) 旅行前の期待度

「海の美しさ」について、特に“期待した”比率が多く、8割を超える。「土産品」については、“期待した”比率が相対的に低い。

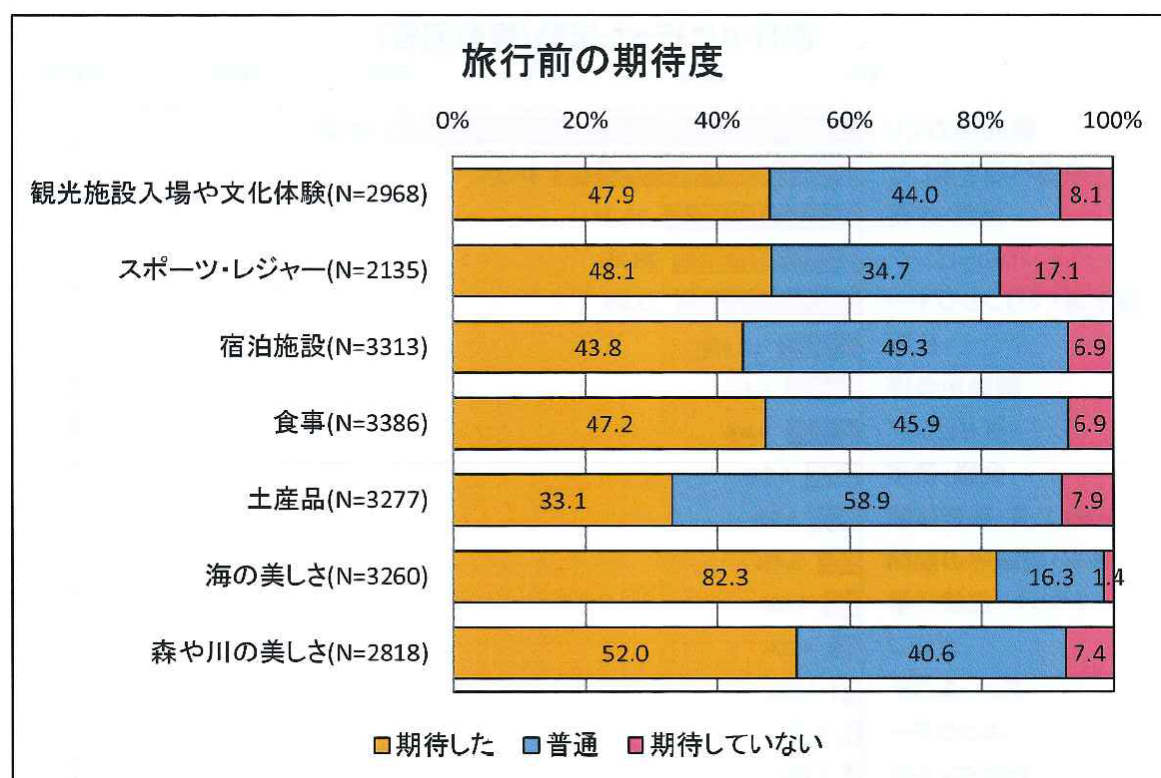


図 2-20 旅行前の期待度

出典：平成 24 年度観光統計実態調査（沖縄県）

8) 旅行中の活動内容及び訪問回数別にみた活動内容

「観光地めぐり」は全体の約6割が実施している。

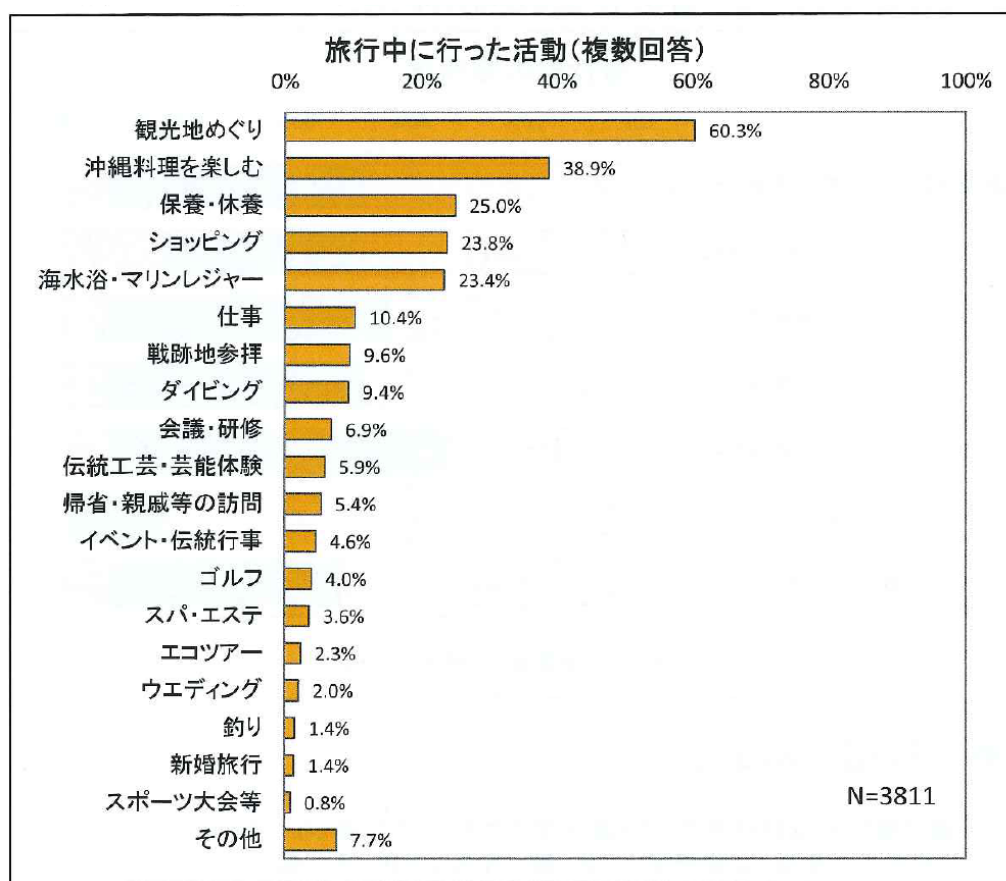


図 2-21 旅行中に行った活動

出典：平成 24 年度観光統計実態調査（沖縄県）



図 2-22 訪問回数別にみた旅行中の活動内容

出典：平成 24 年度観光統計実態調査（沖縄県）

9) 最も印象に残った活動とその満足度

「海水浴・マリレジャー」が半数を占めるほか「ダイビング」や「ゴルフ」も上位にある。

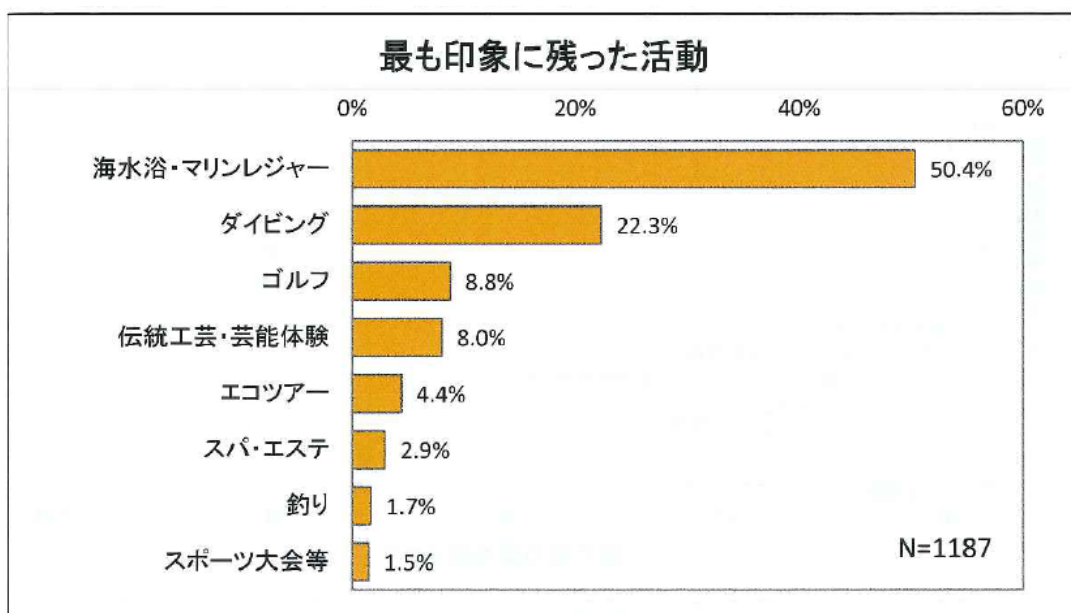


図 2-23 最も印象に残った活動

出典：平成 24 年度観光統計実態調査（沖縄県）

「エコツアー」「ダイビング」「伝統工芸・芸能体験」で“大変満足”の比率が7割を超えている。

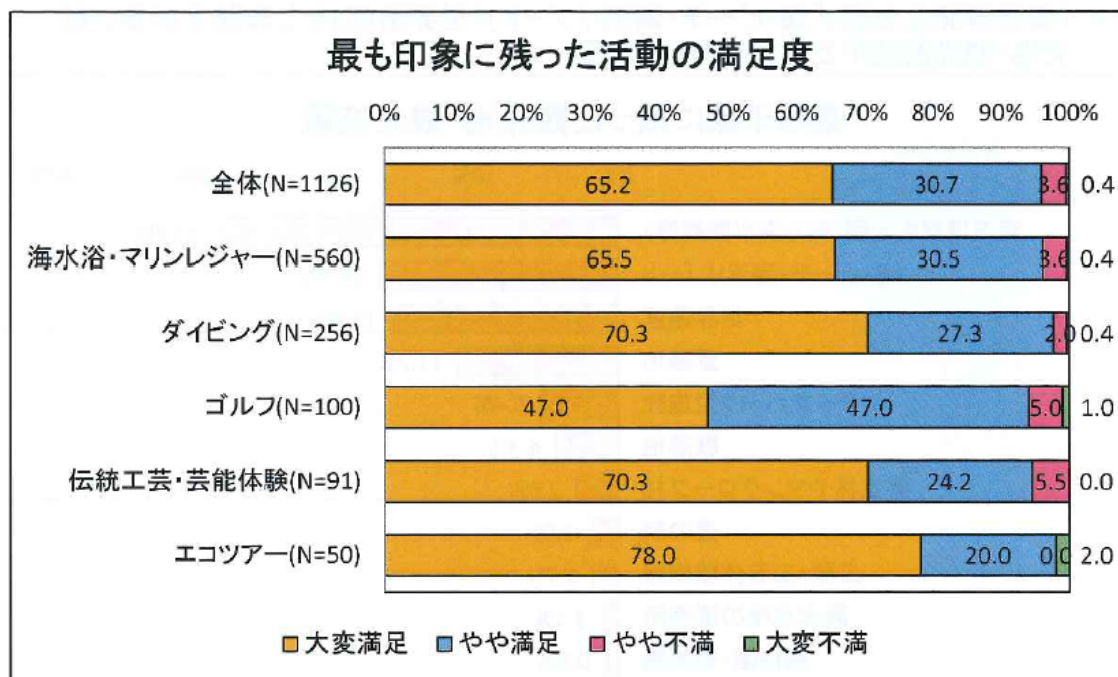


図 2-24 最も印象に残った活動の満足度

出典：平成 24 年度観光統計実態調査（沖縄県）

10) 最も印象に残った飲食施設とその満足度

最も印象に残った飲食施設は「沖縄そば・沖縄家庭料理店」が最も多い。「居酒屋・バー」「和食料理店」「民謡酒場」は、利用した飲食施設と比較して高い。

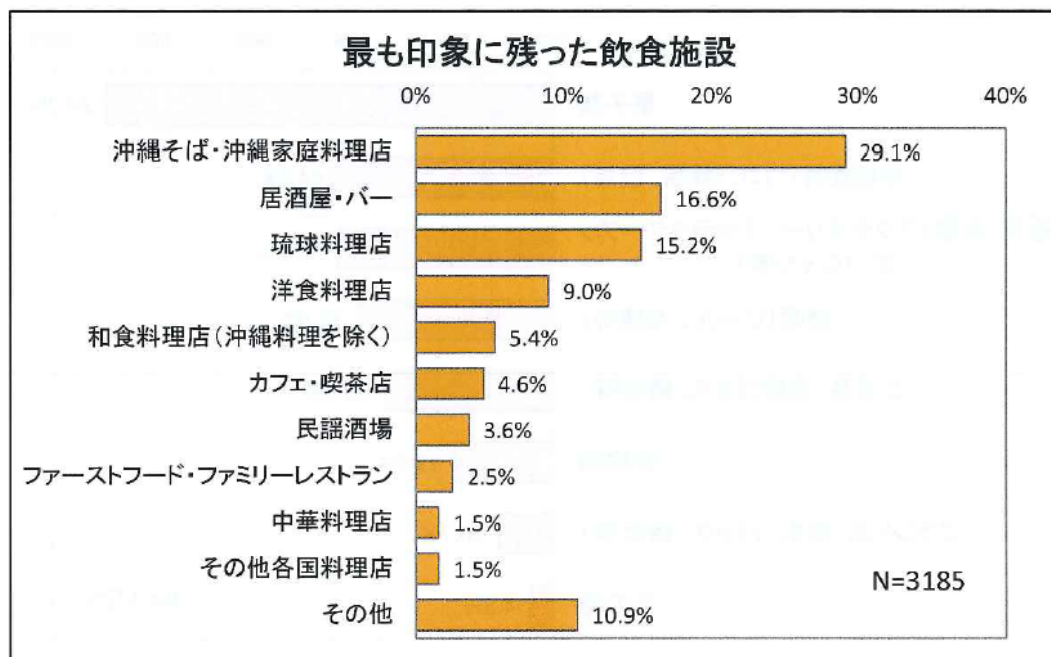


図 2-25 最も印象に残った飲食施設

出典：平成 24 年度観光統計実態調査（沖縄県）

「カフェ・喫茶店」で満足度が高い。「ファーストフード・ファミリーレストラン」「民謡酒場」は満足度が低い。

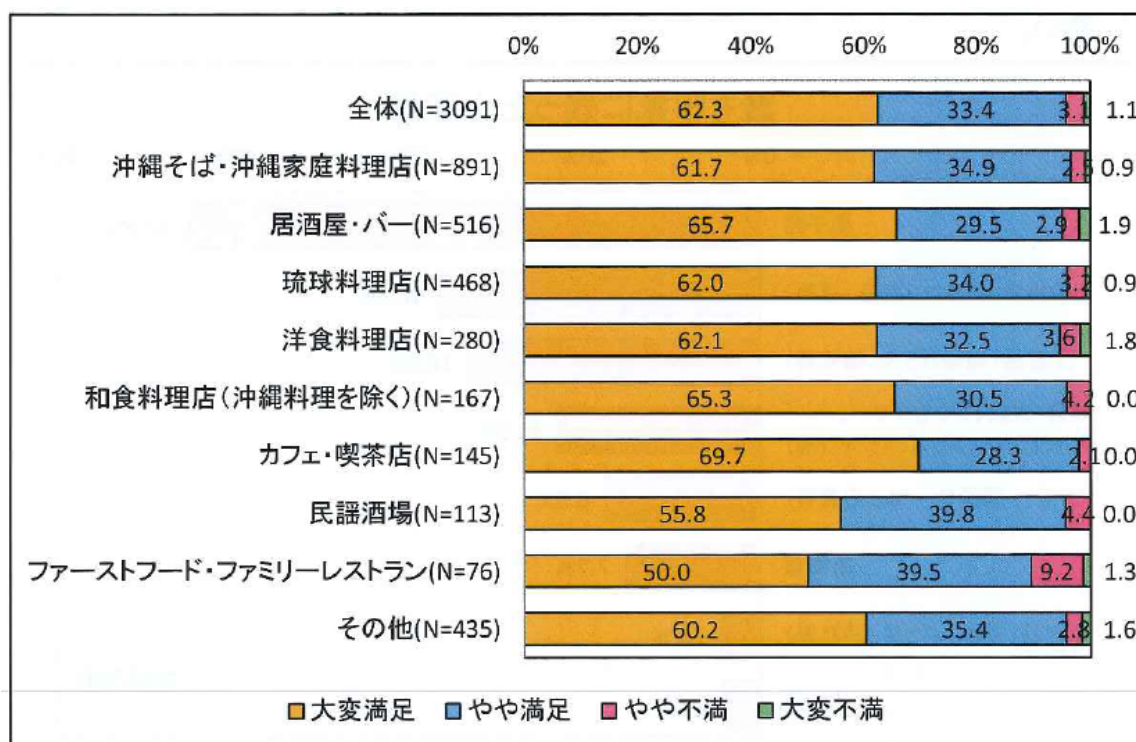


図 2-26 最も印象に残った飲食施設の満足度

出典：平成 24 年度観光統計実態調査（沖縄県）

11) 土産品（購入、印象に残ったもの、満足度）

①購入した土産品

「菓子類」は全体の約 9 割が購入している。

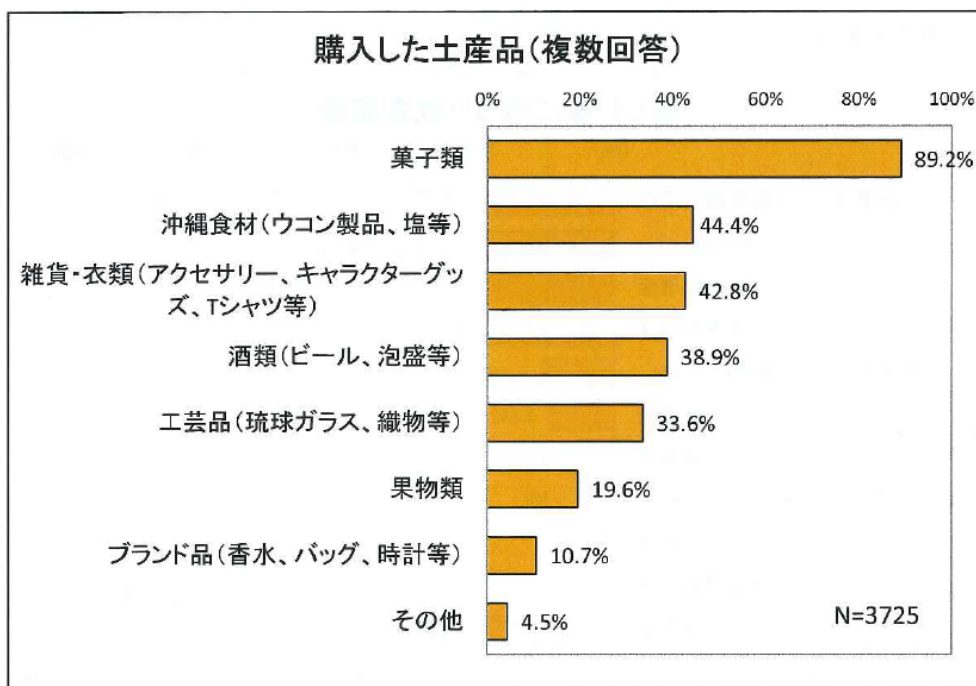


図 2-27 購入した土産品

出典：平成 24 年度観光統計実態調査（沖縄県）

②最も印象に残った土産品

最も印象に残った土産品も「菓子類」が最も多い。「工芸品」は、購入した土産品の順位（5 位）よりも最も印象に残った土産品の順位の方が高い。

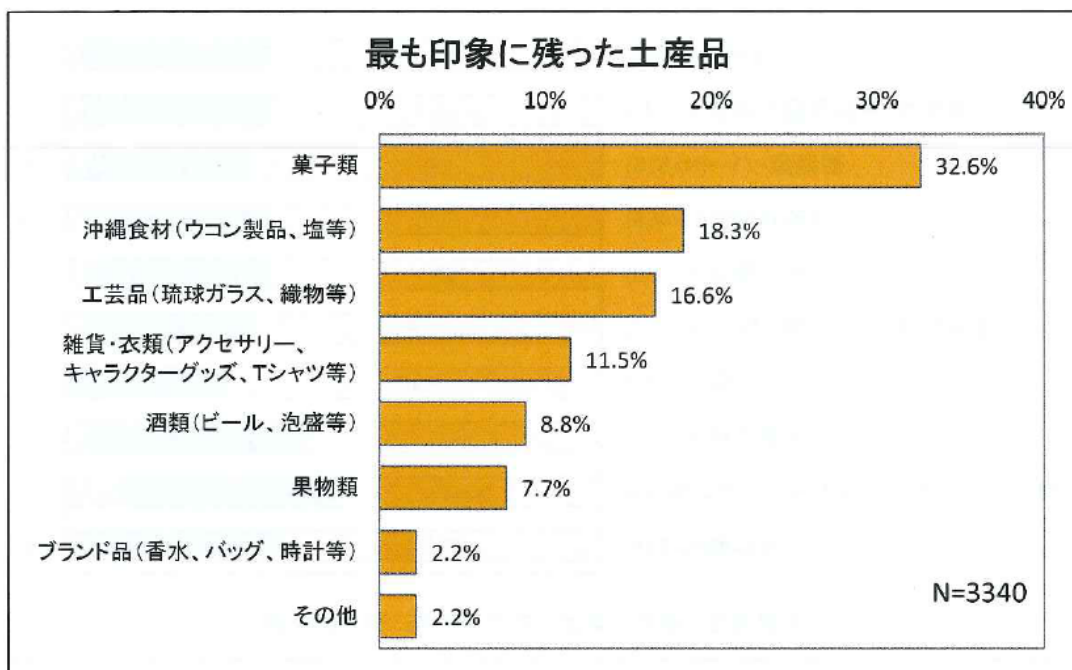


図 2-28 最も印象に残った土産品

出典：平成 24 年度観光統計実態調査（沖縄県）

③最も印象に残った土産品の満足度

「工芸品」で“大変満足”の比率が多く、「雑貨・衣類」「果物」と続く。購入率の高い「菓子類」で“大変満足”の比率が高い。

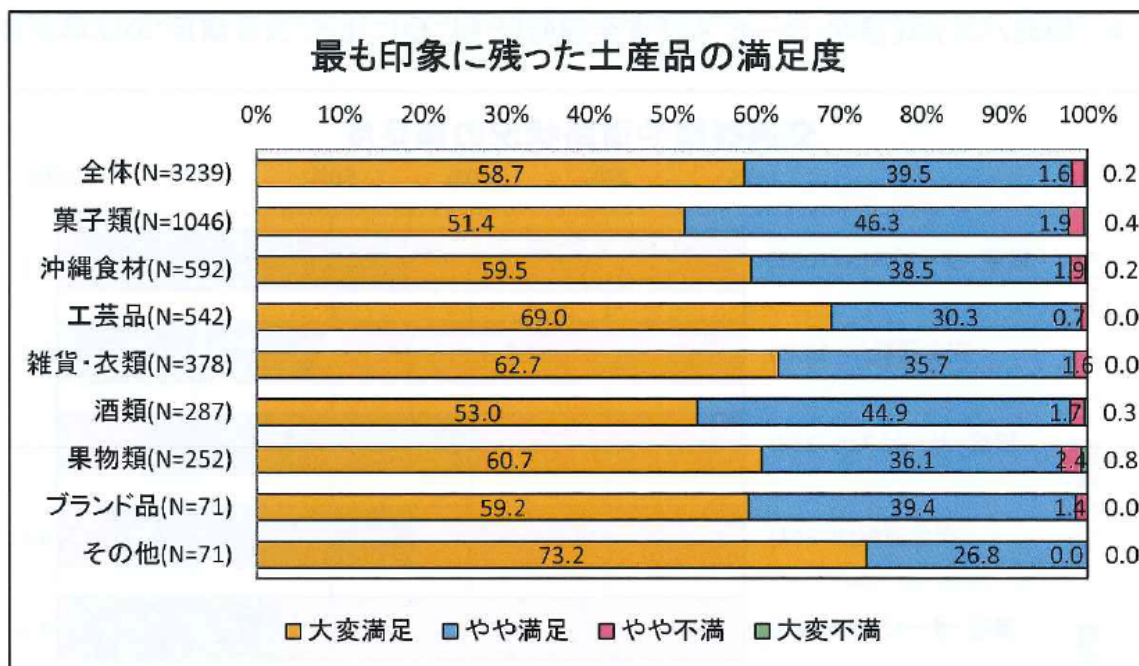


図 2-29 最も印象に残った土産品の満足度

出典：平成 24 年度観光統計実態調査（沖縄県）

12) 再訪意向

今後 5 年間の再訪意向は、満足度が高いほど今後 5 年間の再訪意向が高い。また、5 年以内に訪れてみたいという回数も多くなる傾向がある。

「釣り」や「エコツアー」「イベント・伝統行事」といった目的性の強い活動内容で再訪意向が高い傾向がみられる。その他では「保養・休養」も再訪意向が高くなっている。

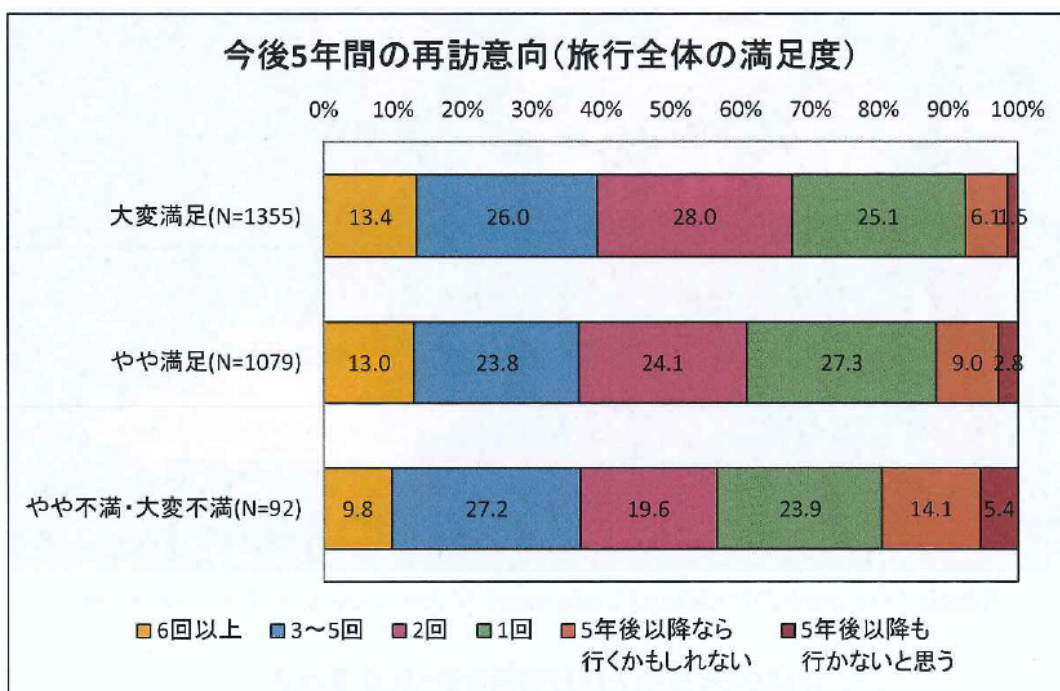


図 2-30 今後 5 年間の再訪意向

出典：平成 24 年度観光統計実態調査（沖縄県）

13) 観光客一人当たりの県内消費額

(単位:円、%)

項目 年度	総額	宿泊費 構成比	交通費 構成比	土産・買物費 構成比	飲食費 構成比	娯楽・入場費 構成比	その他 構成比
H18年度	71,560	24,241 33.9	7,967 11.1	16,668 23.3	14,603 20.4	6,055 8.5	2,026 2.8
H19年度	72,795	23,834 32.7	7,787 10.7	19,324 26.5	13,933 19.1	5,971 8.2	1,945 2.7
H20年度	72,458	23,215 32.0	7,887 10.9	19,390 26.8	14,324 19.8	6,192 8.5	1,449 2.0
H21年度	66,403	20,460 30.8	7,154 10.8	17,520 26.4	13,852 20.9	6,085 9.2	1,333 2.0
H22年度	70,553	21,164 30.0	8,500 12.0	16,920 24.0	14,739 20.9	7,836 11.1	1,395 2.0
H23年度	68,427	18,444 27.0	9,816 14.3	16,526 24.2	14,791 21.6	7,602 11.1	1,247 1.8
H24年度	67,459	18,310 27.1	9,847 14.6	16,002 23.7	14,336 21.3	7,206 10.7	1,757 2.6

※出所: 沖縄県「観光統計実態調査」

※四捨五入のため、総額が一致しない場合がある。

※観光統計実態調査の年度調査は、平成18年度より実施。

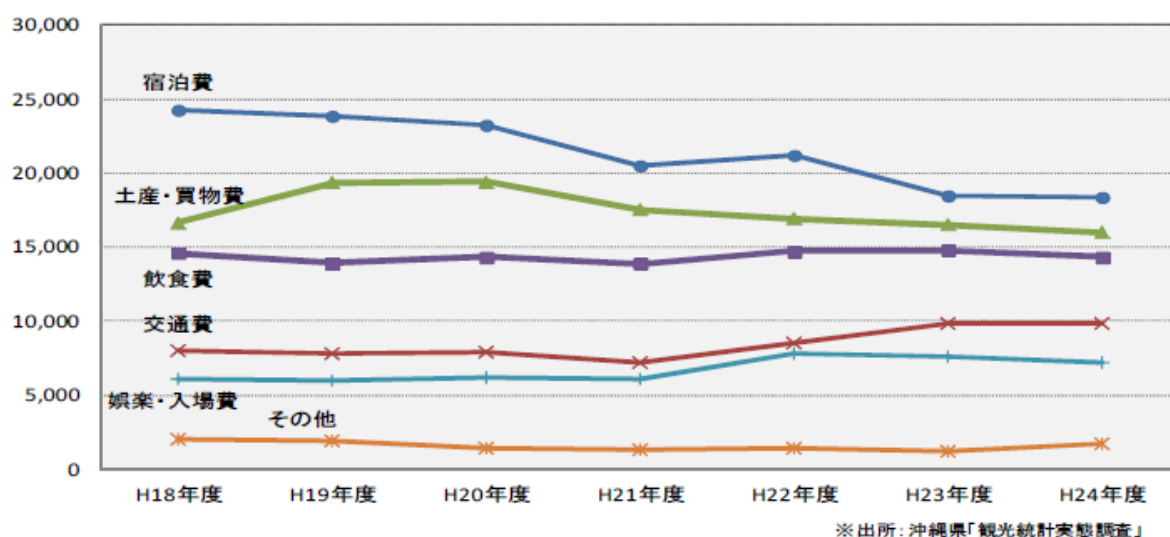


図 2-31 観光客一人当たりの県内消費額の推移

出典: 平成 24 年度観光統計実態調査 (沖縄県)

14) 糸満市における入域観光客数の時間推移（推計値）

沖縄県が実施した既往調査の結果では、糸満市に訪れる観光客は夜間に比べ昼間の観光客が大きく増加する。特に 10 月の平日は極めて高く、修学旅行の影響が強く出ているものと推測される。また、10 月平日は午前中にピークを迎えるのも特徴的である。1 月は平休日でありあまり差はなく、ピークも正午過ぎとなっている。

表 2-4 沖縄県市町村観光客数調査概要

調査項目	10 月・1 月の市町村における県外観光客数
調査時期	平成 24 年 10 月および平成 25 年 1 月
調査対象	平成 24 年 10 月および平成 25 年 1 月の水曜日(平日)・土曜日(休日)に各市町村にいた県外観光客数
調査方法	モバイル空間統計

出典：平成 24 年度戦略的リピーター創造事業報告書（沖縄県）

【モバイル空間統計】携帯電話ネットワーク（株式会社 NTT ドコモ）の運用データを活用し、ある時、ある場所の現在人口を推計した統計情報である。

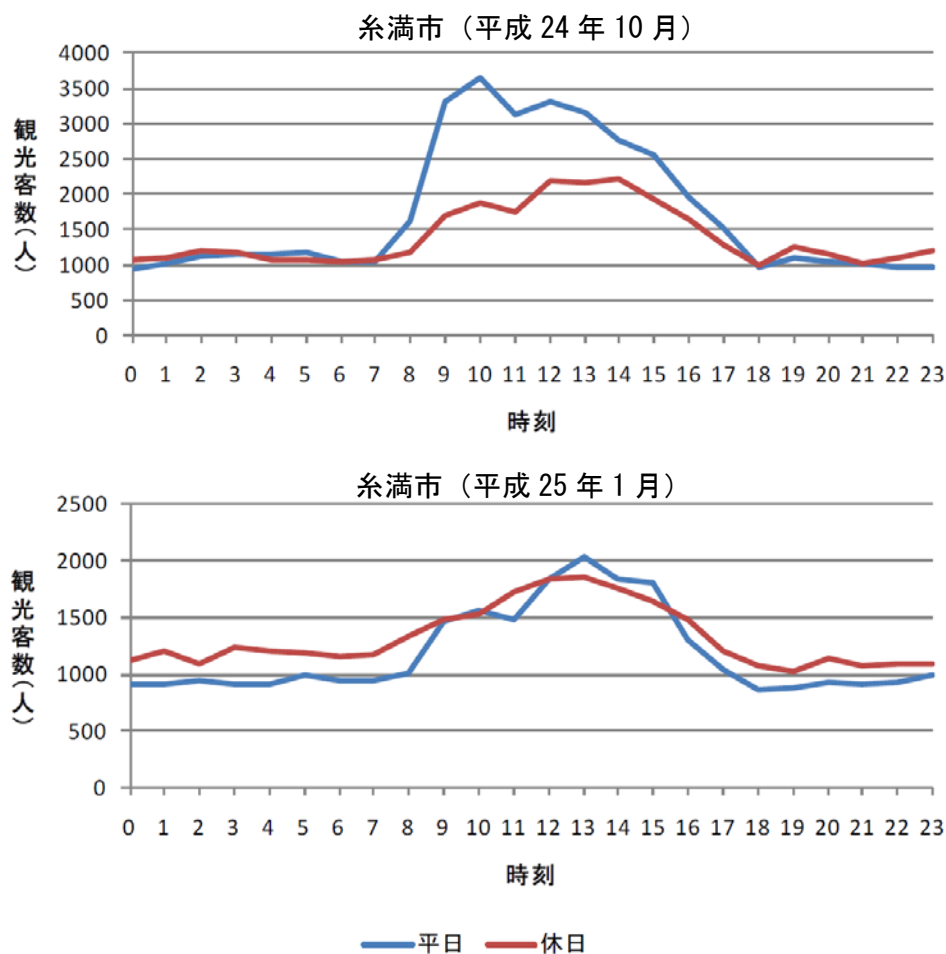


図 2-32 県外観光客数の時間推移（糸満市）

出典：平成 24 年度戦略的リピーター創造事業報告書（沖縄県）

15) 糸満市におけるレンタカー観光客の動向

糸満市内におけるレンタカー観光客の訪問箇所（エンジンを切り一定時間停車した場所）では、平和祈念公園をはじめとする主要観光施設周辺への訪問が多い。一方、主要幹線道路を離れ集落地域内まで訪れるレンタカー観光客は少なく、周遊観光を促進させる必要性が伺える。

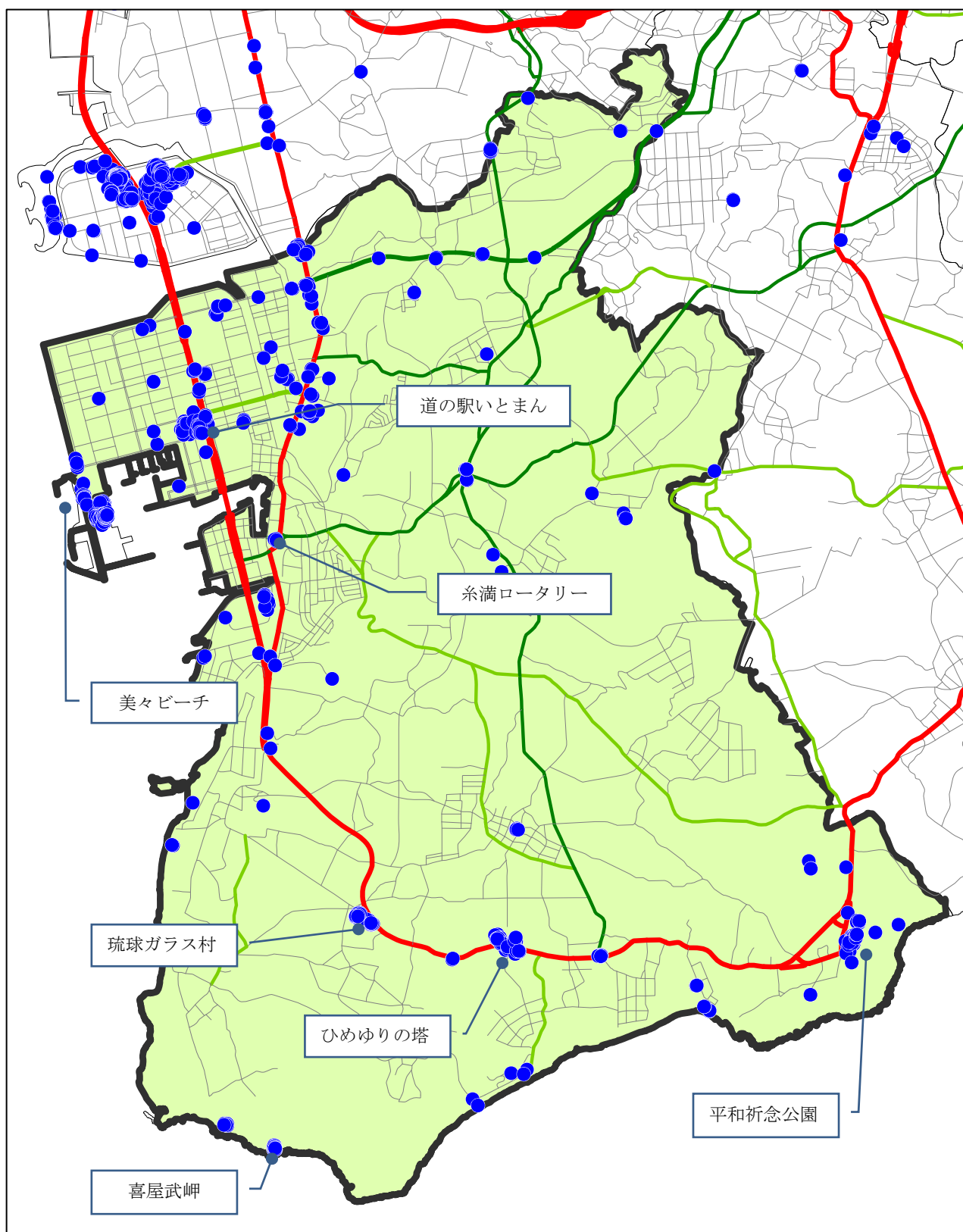


図 2-33 レンタカー観光客の訪問箇所（対象 592 組、H23～H25 年）

出典：レンタカープローブデータ（一般社団法人沖縄しまたて協会）

表 2-5 市町村別基本集計

市町村名	訪問者数・率 (全592組)		宿泊 件数	平均滞在時間 (h)	
				宿泊含む	宿泊除く
国頭村	43	7%	23	10.5	1.7
大宜味村	25	4%	2	2.1	0.6
東村	23	4%	0	1.4	1.4
今帰仁村	167	28%	15	2.8	1.5
本部町	350	59%	87	6.9	3.5
名護市	368	62%	168	8.9	2.4
恩納村	312	53%	275	16.1	2.9
宜野座村	11	2%	4	8.8	1.1
金武町	81	14%	2	0.9	0.5
うるま市	146	25%	22	4.1	2.2
読谷村	179	30%	82	8.6	2.0
嘉手納町	42	7%	2	1.7	0.8
沖縄市	81	14%	51	11.8	3.7
北谷町	194	33%	31	4.4	2.2
北中城村	38	6%	2	1.8	1.0
宜野湾市	98	17%	46	8.8	2.0
中城村	61	10%	2	1.1	0.4
浦添市	98	17%	6	2.5	1.6
西原町	21	4%	8	10.6	5.3
那覇市	529	89%	483	16.2	3.5
与那原町	14	2%	0	1.4	1.4
南風原町	35	6%	2	1.7	0.9
豊見城市	510	86%	5	0.8	0.7
糸満市	186	31%	98	9.9	2.1
南城市	190	32%	5	2.7	2.2
八重瀬町	23	4%	4	3.9	0.8

出典：レンタカープローブデータ
(一般社団法人沖縄しまたて協会)

レンタカー観光客の動向として、糸満市を訪れる観光客は31%と、南城市・北谷町・読谷村などと同程度である。また、南部圏域における宿泊件数では那覇市に次いで多く、宿泊を含めた滞在時間でも9.9時間と近隣市町村を大きく上回っている。(表2-5参照)

さらに、沖縄本島内の主要観光施設における訪問者数の順位では「ひめゆりの塔」が11位に入っており、次いで「道の駅 いとまん」「平和祈念公園」が同率で20・21位に入っている。

主要観光施設における滞在時間では「美々ビーチ いとまん」を除いて概ね1時間以内となっている。(表2-6参照)

表 2-6 主要観光施設別訪問者数順位

順位	主要観光施設・観光地名	利用者数 (全592組)		平均滞在時間 (分)
1	海洋博公園	292	49%	155
2	国際通り周辺	247	42%	121
3	那覇新都心地区	199	34%	93
4	首里城公園・玉陵	161	27%	74
5	美浜地区	157	27%	111
6	古宇利島	144	24%	59
7	アウトレットモールあしびなー	139	23%	75
8	万座毛	117	20%	24
9	道の駅許田	116	20%	30
10	斎場御嶽	80	14%	40
11	ひめゆりの塔	76	13%	53
12	ナゴバイナッブルパーク	75	13%	52
13	道の駅豊崎	70	12%	25
14	おきなわワールド [®] (玉泉洞)	69	12%	125
15	沖縄自動車道 (伊芸SA)	67	11%	14
16	海中道路 (うるま市)	67	11%	29
17	残波岬	67	11%	28
18	OKINAWAフルーツランド	55	9%	50
19	おんなの駅なかゆくい市場	54	9%	42
20	道の駅いとまん	52	9%	39
21	平和祈念公園	52	9%	41
22	瀬底島	51	9%	105
23	沖縄自動車道 (中城PA)	48	8%	10
24	真栄田岬	45	8%	93
25	琉球村	43	7%	80
26	今帰仁城跡	40	7%	47
27	備瀬フクギ並木	40	7%	81
28	森のガラス館 (名護)	39	7%	45
29	ジャスコ名護店	38	6%	75
30	伊計島	33	6%	74
31	やんばる海の駅	31	5%	58
32	琉球ガラス村 (糸満)	29	5%	60
33	本部町営市場周辺	28	5%	34
34	沖縄市中心市街地区	27	5%	112
35	がんじゅう駅・知念岬公園	26	4%	18
36	やちむんの里 (読谷)	26	4%	54
37	道の駅かでな	25	4%	30
38	道の駅ゆいゆい国頭	24	4%	32
39	豊崎海浜公園	24	4%	30
40	座喜味城跡	22	4%	25
41	勝連城跡	22	4%	31
42	浜比嘉島	22	4%	41
43	辺戸岬	22	4%	18
44	奥武島	19	3%	35
45	カフェくるくま (南城)	18	3%	58
46	中城城跡	18	3%	44
47	むら咲むら (読谷)	17	3%	133
48	新原ビーチ	17	3%	70
49	瀬長島	17	3%	24
50	ピオスの丘	16	3%	94
51	名護自然動植物公園	15	3%	74
52	美々ビーチいとまん	13	2%	93
53	ビザ喫茶花人逢	12	2%	58
54	道の駅おおぞみ	12	2%	14
55	ジャスコ具志川店	11	2%	86
56	あざまサンサンビーチ	9	2%	47
57	久高島定期船のりば	9	2%	203
58	中村家	9	2%	43
59	トロピカルビーチ	8	1%	127
60	識名園	7	1%	68
61	西原マリンパーク	3	1%	28

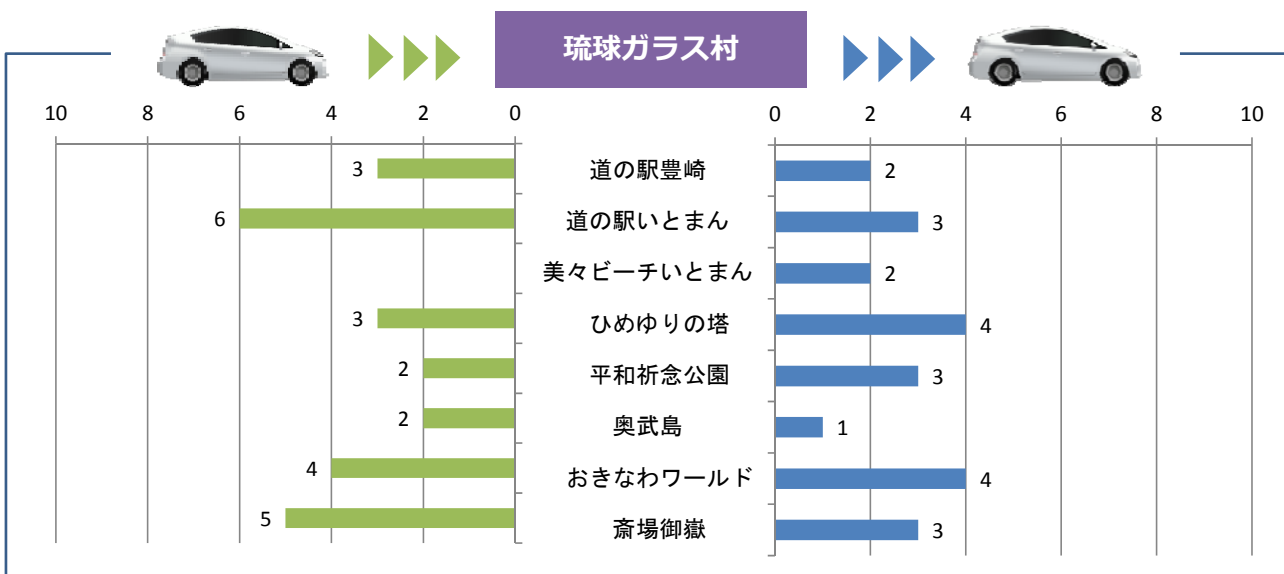
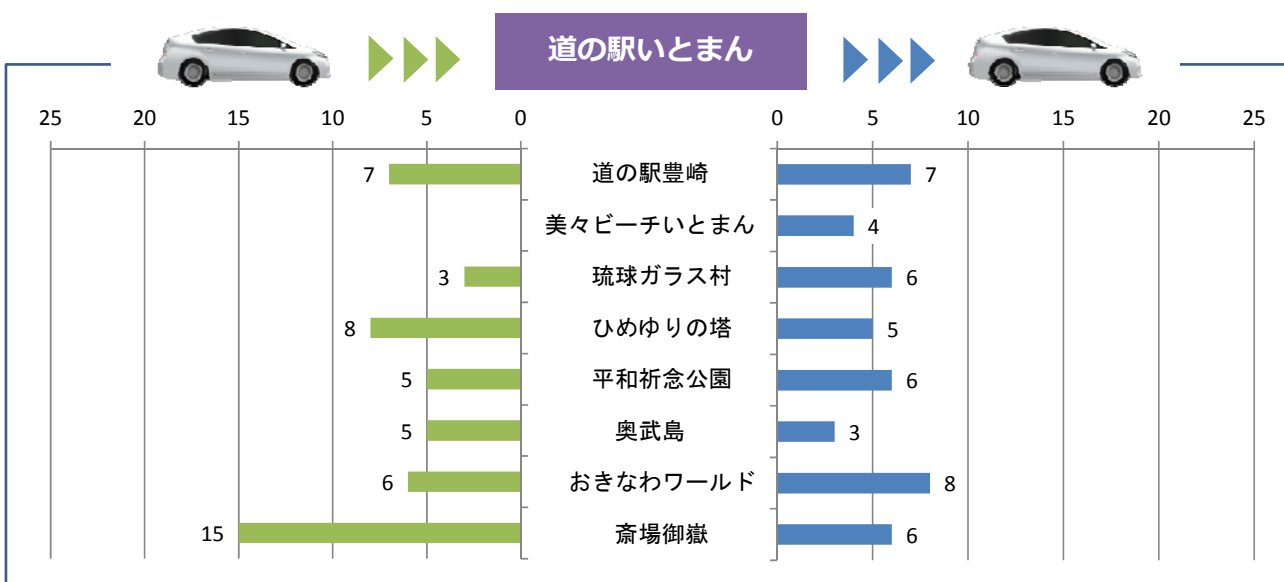
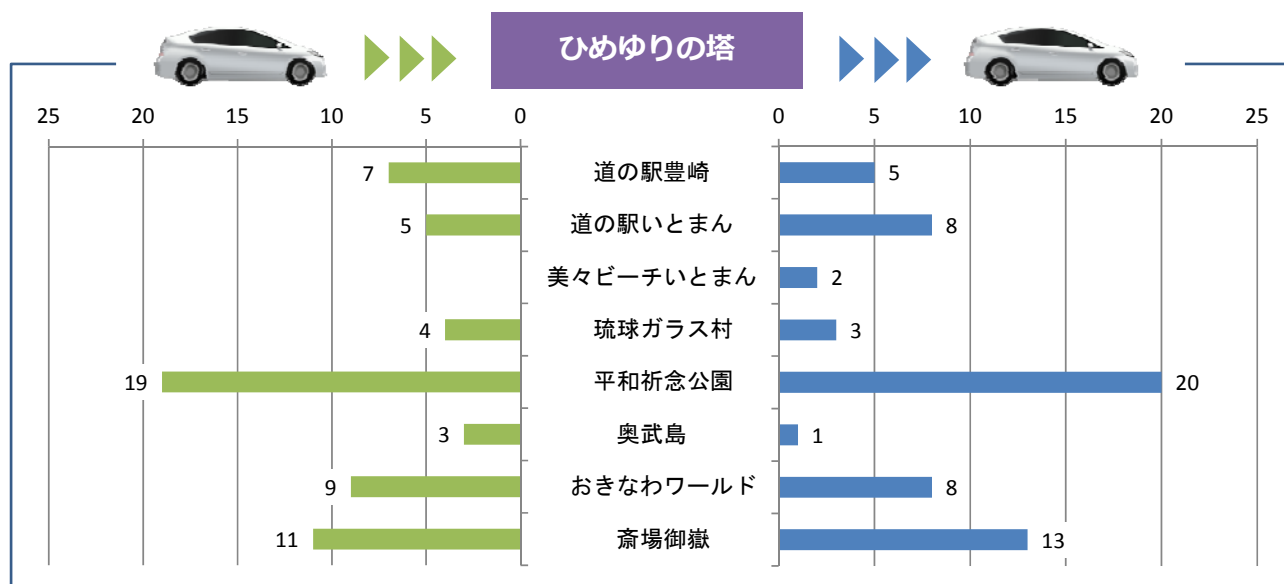


図 2-34 主要観光施設における前後の訪問箇所

出典：レンタカープローブデータ（一般社団法人沖縄しまて協会）

(2) 修学旅行生の動向把握

沖縄県を訪れる修学旅行生向けのプログラム企画検討にあたり、既存資料(県観光要覧)の整理に加えて沖縄コンベンションビューロー及び旅行会社(沖縄ツーリスト)へヒアリングを行い、沖縄県を訪れる修学旅行生の動向を把握した。

1) 修学旅行生の推移

平成 23 年は東日本大震災による旅行先の振替の影響もあり、校数、人数ともに過去最高となったが、平成 24 年は一昨年の水準に戻った。平成 23 年を除くと、平成 17 年からは 2,500 校前後、40～45 万人で推移している。



(予定)

	22年	23年	24年	25年	26年
校数	2,562	2,686	2,484	2,496	2,534
対前年増減比	4.2%	4.8%	▲7.5%	0.5%	1.5%
人数	438,194	451,550	431,407	436,334	455,447
対前年増減比	6.3%	3.0%	▲4.5%	1.1%	4.4%

図 2-35 修学旅行における校数の推移

出典：沖縄県ホームページ

2) 平成 25 年の沖縄修学旅行の入込実績と校種別内訳

平成 25 年度の沖縄修学旅行の入込実績は、学校数は 2,496 校(対前年 +12 項、+0.5%)、人数は 436,334 人(対前年 +4,927 人、+1.1%) とほぼ横ばいで推移している。

校種別にみると、高校が全校数の約 66%、中学校が約 32%を占めている。人数は、高校が約 76%、中学校が約 23%を占めている。

表 2-7 平成 25 年の修学旅行入込校数・人数

	校数			人数		
	(校)	構成比	対前年比	(人)	構成比	対前年比
小学校	22	0.9%	110.0%	1,433	0.3%	128.8%
中学校	809	32.4%	98.9%	101,462	23.3%	100.6%
高校	1,656	66.3%	101.8%	333,091	76.3%	101.4%
専門学校	2	0.1%	50.0%	108	0.0%	51.4%
大学	0	0.0%	皆減	0	0.0%	皆減
その他	7	0.3%	50.0%	240	0.1%	41.0%
合計	2,496	100.0%	100.5%	436,334	100.0%	101.1%

出典：沖縄県ホームページ

3) 平成 25 年実績の月別入込状況

沖縄県への修学旅行の月別入込状況をみると、5 月、10 月、11 月、12 月に、校数・人数ともに多くなっている。(沖縄県の観光客入込のピークは、8 月、7 月、3 月)

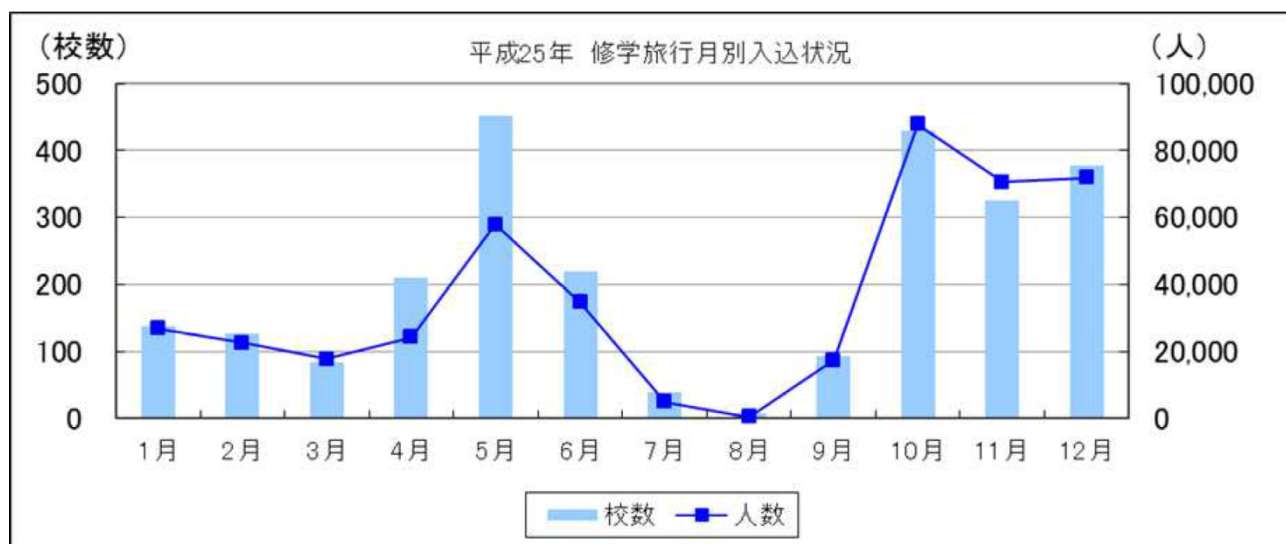


図 2-36 平成 25 年の修学旅行月別入込状況

4) 平成 25 年実績の発地（都道府県）別入込状況

沖縄修学旅行の発地をみると人数は東京都が最も多く、次いで大阪府となっている。（校数は同数）関東、関西圏からの学校が多い。

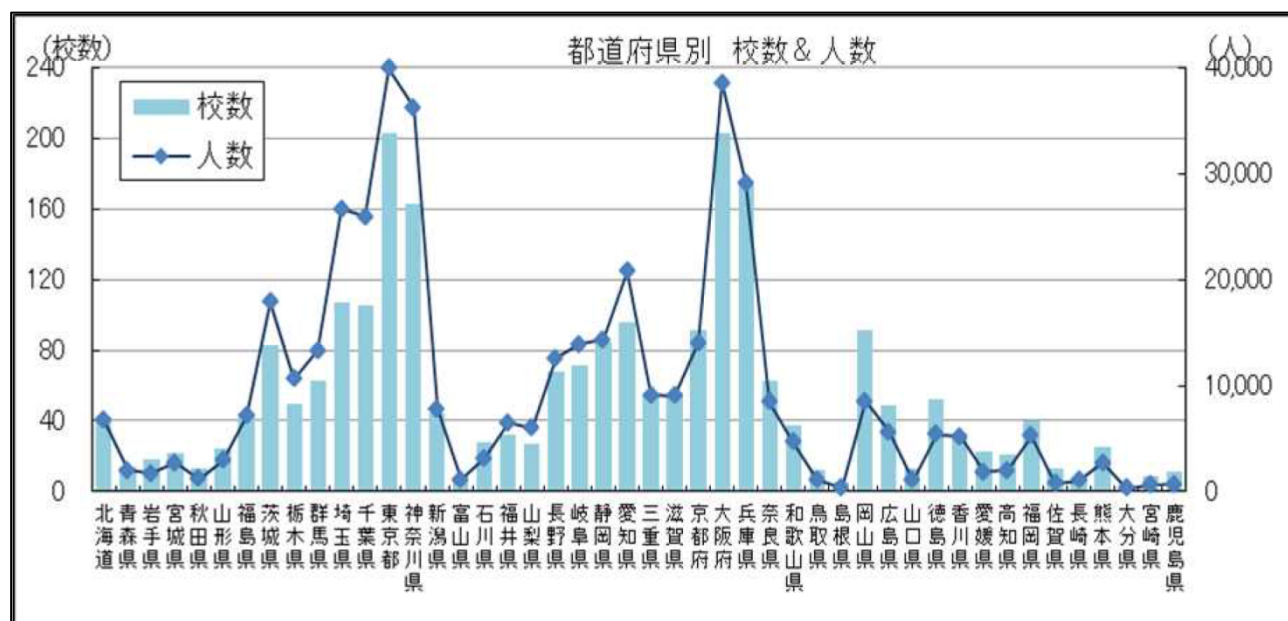


図 2-37 平成 25 年の都道府県別校数と人数

5) 平成 26 年の入込予定

平成 26 年度の入込予定は、校数及び人数ともに平成 25 年度とほぼ変わらず、横ばいで推移すると思われる。

表 2-8 平成 26 年 予定修学旅行入込校数・人数

	校数			人数		
	(校)	構成比	対前年比	(人)	構成比	対前年比
小学校	16	0.6%	72.7%	1,004	0.2%	70.1%
中学校	790	31.2%	97.7%	101,513	22.3%	100.1%
高校	1,712	67.6%	103.4%	351,964	77.3%	105.7%
専門学校	5	0.2%	250.0%	441	0.1%	408.3%
大学	0	0.0%	—	0	0.0%	—
その他	11	0.4%	157.1%	525	0.1%	218.8%
合計	2,534	100.0%	101.5%	455,447	100.0%	104.4%

6) 修学旅行生の行動把握

沖縄観光コンベンションビューロー及び旅行会社（沖縄ツーリスト）へヒアリングを行い沖縄へ訪れた修学旅行生の行動を把握した。

①旅行日数等

中学校の沖縄修学旅行の時期は5月で2泊3日、高校の沖縄修学旅行の時期は10月～12月で3泊4日を組む学校が多い。私学は公立に比べて旅行日数が長くなる傾向がある。

また、中学校は関西圏から、高校は関東圏からの学校が多い。

②旅行日程

中学校の旅行日程は、初日は団体行動、中日はクラス別行動または民泊、最終日は首里城または国際通り周辺で散策という日程がほとんどである。最終日の2、3時間（昼食込）が自由行動となっているが、お土産を購入するための時間である。

高校の旅行日程は、初日は団体行動、中日は班行動（タクシー観光）または民泊、最終日は首里城または国際通り周辺で散策という日程がほとんどである。中日のタクシー観光による班行動は、班でテーマを決め事前学習を行っており、さらに観光する箇所が決まっている。沖縄にきてから自由にコースを決めているというわけではない。また、タクシー観光にも理由があり、タクシーの運転手が生徒の時間管理を担っている。

③旅行内容

【中学生】

- ・初日の大半を費やし平和学習を実施することが多い。
- ・那覇空港着（お昼頃）→ひめゆりの塔（昼食）→平和祈念公園→ガマのコースが多い。（糸満市内泊、または那覇市内泊）
- ・中日は、おきなわワールド→中・北部を回るコースが多い
※道の駅かでな、恩納村ふれあい体験学習センター、海洋博記念公園など（中部泊）
- ・最終日は那覇市内（首里城または国際通り周辺で散策）が多い。

【高校生】

- ・平和学習は中学生よりも比重は軽い。体験型メニューが主。最近では民泊を実施する学校も増えてきている。
- ・北部でのマリン体験や自然体験が多い。
- ・班別行動はタクシー観光が主。
- ・最終日は那覇市内（首里城または国際通り周辺で散策）が多い。

最近は、「観て回る」旅から体験して「感じる」、そこから得たものを実生活に「生かす」学びの旅へと変化しており、中学・高校ともに「深い体験・交流活動」ができる民泊を実施する学校が増えてきている。

※参考値：2012年度の修学旅行における民泊利用実績は、学校数が691校、生徒数が10万9893人。

④ひめゆりの塔や平和祈念公園を訪れる修学旅行生の減少

以前はほとんどの学校がお昼前には那覇空港へ到着し、昼食をひめゆりの塔近くの優美堂でとり、その後ひめゆり記念館、平和祈念公園を回るコースが多かった。最近では、昼後の便、15時以降到着する修学旅行生が増えてきている。

理由として、航空会社の影響が大きく、ジャンボジェット機の便が昼は少ない。15時以降の那覇着だと訪れる施設が限られてくるうえ、昼食は済ませた状態で到着。「轟の壕」を見学後ホテルへ移動というケースが発生。

7) 修学旅行のプロモーション等販売促進の取組状況

① 修学旅行推進強化事業（沖縄観光コンベンションビューロー実施事業）

沖縄県では、沖縄修学旅行実施校の事前学習を充実させ、沖縄修学旅行における満足度向上と継続的实施を図ることを目的に、平成 25 年度から取り組んでいる。

i : 学校に対する事前・事後学習支援

沖縄への修学旅行を実施する学校のうち、事前・事後学習を充実させるための支援を希望する学校に対し、アドバイザーの派遣（年間 200 校程度）やガイドブック配付（年間 35 万部程度）を実施している。派遣するアドバイザー等は学校の希望に応じ、県内のバスガイドや平和ガイド、自然体験・文化体験等のガイド・インタープリター、エイサー団体、教師、ファシリテーター等である。

ii : 継続実施学校に新たなメニュー等を提案・提供

沖縄への修学旅行を継続的に実施している学校の満足度向上及び今後の継続実施を図るため、当該学校がこれまで実施したことのない体験メニュー等を平成 26 年度に実施する修学旅行に追加実施することを提案・提供している。

iii : 説明会の実施、関係者招聘事業

県外における沖縄修学旅行の新規獲得及び継続実施を図るため、東北、関東、関西の 3 地域において「沖縄修学旅行フェア」を開催している。現地旅行社、学校関係者に向け沖縄修学旅行の学習効果や、最適な受入地としての魅力を広く発信を目的としている。また、県内出展社とフェア来場者との効果的な情報・意見等を共有する場とし、オール沖縄での修学旅行の需要喚起及び取り組みの強化を図っている。

関係者招聘事業は、（公財）日本修学旅行協会ならびに（公財）全日本修学旅行研究協会等の関係者を招聘し、沖縄の現状や新しい沖縄の体験施設の視察を行っている（平成 25 年度実績）。

iv : 修学旅行推進協議会

平成 25 年度から新しい取り組みとして、修学旅行に係る受入関係者間の課題や提案などを共有する場として、沖縄修学旅行推進協議会と 4 つの分野の分科会（平和学習、輸送機能、商品造成・PR、宿泊機能）を設置し、定期的に開催している。また、協議会には航空会社を、分科会にはエージェントにオブザーバーとして参加してもらい、より具体的な取り組みに向けた協議を行っている。

② 修学旅行の旅程に糸満観光プログラムを取り入れるためには

6) で前述したように、修学旅行の旅程は細かく決められており、自由行動の時間は少ない。そのため、学校に糸満観光プログラムを知って頂き、修学旅行の旅程に糸満観光プログラムを組んで頂く必要がある。

修学旅行の金額・旅程は、各学校が修学旅行実施の約 1 年半前に公募し、旅行会社は学校から提示された仕様書をもとに企画提案・見積りを作成し最終的には入札により決定する。

従って、修学旅行の旅程に組んで頂くには、糸満観光プログラムを旅行会社及び沖縄観光コンベンションビューローへ提案していく必要があり、遅くとも 2 年前からその準備・交渉を開始しなくてはならない。

(3) 観光プログラム企画素案

既存プログラム、地域資源、観光客の動向把握を踏まえ、糸満市～那覇空港直行バスを利用し糸満市を訪れた観光客が、本市の豊かな自然や文化を体験することで、何度も繰り返し訪れたくなる観光プログラム企画素案を下記の10プログラム作成した。

プログラム1	海人糸満！海人工房資料館見学&日本最南端の魅力散策
プログラム2	本島最南端の景色満喫♪～喜屋武岬・赤瓦の古民家などをめぐる～
プログラム3	米須集落を満喫♪～米須村丸ごと生活博物館めぐり～
プログラム4	世界遺産になりたいな～南山城跡散策～
プログラム5	沖縄戦終焉の地を訪ねる～戦跡めぐり、平和への願い～
プログラム6	旧暦文化のまち糸満を楽しむ～糸満の旧暦行事・イベントに参加しよう～
プログラム7	見て！触れて！体験しよう！泡盛工場見学と琉球ガラスコップ作りと漆喰シーサー色付け体験
プログラム8	糸満グルメ満喫♪そば作り体験&巻き寿司作り体験と糸満公設市場散策！
プログラム9	南国フルーツ収穫体験&ジャム作り体験
プログラム10	癒しのスポット「与座ガー」湧き水紀行

プログラム企画素案の内容は次ページ以降に示す。

① 海人糸満！海人工房資料館見学 & 日本最南端の駅魅力散策

世界に誇る糸満漁業の伝統文化を次世代に継承する事を目的とした「糸満海人工房資料館」見学と隣接の最南端道の駅「道の駅いとまん」にて、糸満市の特産品や「お魚センター」にてお魚解体ショーなどを見学！

- 期間：通年
- 所要時間：2.5時間(バスの移動時間込)
- 内容：糸満海人工房(30分)⇒道の駅いとまん散策(45分)

まずはここから！
入門コース



② 本島最南端の景色を満喫♪ ～喜屋武岬・赤瓦の古民家などをめぐる～

沖縄本島最南端の糸満市！喜屋武岬や国の登録文化財でもある赤瓦の古民家で、昔の沖縄を感じながらの食事。沖縄貝塚時代後期の遺跡「米須貝塚」を見学。そして、海人糸満で栽培盛んな海ぶどうの摘み取り体験♪

- 期間：通年
- 所要時間：5.0時間(バスの移動時間込)
- 内容：喜屋武岬(30分)⇒米須貝塚(30分)
⇒真壁ちなー(60分)⇒海ぶどう摘み取り体験(30分)

ご夫婦・カップル
おすすめ！



③ 米須集落を満喫♪ ～米須村丸ごと生活博物館めぐり～

米須集落の散策4コースや地域の食材を使ったお料理教室！
糸満市南部にある米須集落を満喫出来るコースです！米須に生
き、米須を愛するシマンチュがおもてなしの心で皆様をお出迎
えします。

- 期間：通年
- 所要時間：3.0～4.5時間(バスの移動時間込)
- 内容：集落めぐり全4コースから選択(1コース90分)
地域料理教室(90分)
散策コース(1コース)と地域料理体験(3時間)

地元の人とふれあい
たい人におすすめ



④ 世界遺産になりたいな ～南山城跡散策～

糸満市大里にある南山城跡を散策。大里は東に与座岳、西に南
山城跡を望む位置にあり、「おもろさうし」に「おおさとは
さとからるかてしかわみつからる」といわれ、長い歴史があ
り、豊富な水と自然に囲まれた、うるわしいしま（集落）です。

- 期間：通年
- 所要時間：3.0時間(バスの移動時間込)
- 内容：和解名森(20分)⇒南山城跡(40分)⇒嘉手志川
(30分)

歴史・文化コース
お子様から大人まで



⑤ 沖縄戦終焉の地を訪ねる ～戦跡めぐり、平和への願い～

沖縄戦終焉の地として「世界の恒久平和を祈願し、発信する場所」糸満市にて戦跡巡りと平和を願う。さらに、第二次世界大戦で亡くなったすべての戦没者の慰霊の為、「ブッタゆかりの聖なる菩提樹」の分け樹が贈呈され、2014年に植樹された「沖縄菩提樹苑」を見学。

- 期間：通年
- 所要時間：5.0時間（バスの移動時間込）
- 内容：沖縄菩提樹苑(30分)⇒平和祈念公園(2時間)

平和学習コース
お子様から大人まで



⑥ 旧暦文化のまち糸満を楽しむ ～糸満の旧暦行事・イベントに参加しよう～

沖縄のなかでも独特の時間が流れている糸満。旧正月、糸満ハーレー、糸満大綱引きなど旧暦文化を大切にしています。また、エイサー祭り、爬龍舟フェスティバル、イルミネーションなど、1年を通して季節ごとの楽しいイベントがあります。

- 期間：各開催日
- 所要時間：半日～1日（バスの移動時間込）
- 内容：糸満ハーレー、大綱引き、イルミネーションなど
各行事・イベントに参加

地元伝統行事やイ
ベントを体験したい
ひとにおすすめ



⑦見て！触れて！体験しよう！

泡盛工場見学と琉球ガラスコップ作りと漆喰シーサー色付け体験

琉球ガラス工房の職人技を見学！そして、実際に「型吹き」や「飲み口仕上げ作業」の作業をして、琉球ガラスコップ作りにチャレンジ！そして！漆喰シーサー工房にてシーサー色付け体験！さらに！泡盛工場「比嘉酒造」を見学。

- 期間：通年
- 所要時間：4.5時間(バスの移動時間込)
- 内容：比嘉酒造(40分)⇒漆喰シーサー工房ニャン山(40分)⇒琉球ガラス村(40分)

体験満喫コース♪
大人も子供も楽しめます！



⑧糸満グルメ満喫♪！

そば作り体験＆巻き寿司作り体験と糸満公設市場散策！

グルメも豊富な糸満市！公設市場にて糸満のグルメ満喫！中でも糸満発祥のかまぼこは絶品！また、県内最大の沖縄そばの製麺工場内にて沖縄そば作り体験！作りたてのそばはその場で試食！さらに！サザンビーチホテル＆リゾートにて巻き寿司作り体験！沖縄の食文化を学んで、美味しく食べよう！

- 期間：通年
- 所要時間：6時間(バスの移動時間込)
- 内容：糸満公設市場(60分)⇒サンサンキッチン(3時間)⇒サザンビーチ(約1時間)

学んで体験♪
家族におすすめ！



⑨南国フルーツ収穫体験＆ ジャム作り体験

南国フルーツ満喫コース。パッションフルーツやアセロラ収穫
対体験♪

また、糸満市特産のにんじんを使ってジャム作り体験♪

- 期間：5月～7月
- 所要時間：5.5時間(バスの移動時間込)
- 内容：糸満観光農園(収穫体験・ジャム作り)(3時間)

自由研究！
お子様におすすめ！



⑩癒しのスポット「与座ガー」 湧き水紀行

癒しのスポット「与座ガー」でマイナスイオンを浴びよう。首
里王朝時代に作られた井泉「与座ガー」は水量が豊かで、その
水は公園のプールにも引かれ、地域の子どもの遊び場にも
なっています。世代を超え、地域に受け継がれる水の癒しス
ポットとその周りにある御嶽なども散策。

- 期間：通年
- 所要時間：3時間(バスの移動時間込)
- 内容：与座ノ御嶽(20分)⇒クバ御嶽(40分)⇒与座ガー
(30分)

癒しコース♪
お子様から大人まで



(4) 観光客ニーズ調査

前述の 2-2-2(3)で作成した観光プログラム素案に対して観光客の意向を把握するため那覇空港で3日間アンケート調査を実施した。

1) アンケート調査概要

①調査日時

平成26年10月3日(金)～5日(日)の3日間、12時～18時の時間帯に実施した。

②調査場所

那覇空港ビルディング内(2階出発ロビー)

③調査方法

個別ヒアリング形式

④調査項目

- ・観光客の属性
- ・観光体験プログラム企画案の購入(参加)意欲
- ・支払意志額
- ・許容できる所要時間
- ・公共交通に対するニーズ・利用条件

⑤調査体制

アンケート実施の主旨から、糸満市を知っている方、今後観光プログラムのガイドとなる可能性の高い方をアンケート調査員とした方が良いと考え、糸満市観光協会を通して、観光ガイドの方(7人)をアンケート調査員とした。

⑥その他

アンケートにご協力頂いた観光客の方へは粗品をお渡しした。



▲粗品

糸満市⇄那覇空港

直行バス実証実験(試験運行)のご案内

H27.5～試験運行!

- 糸満市では、平成27年度5月から、「暮らす人、訪れる人ともに利用しやすい公共交通」として、**那覇空港と糸満市を結ぶ直行バス**の試験運行を始めます。
- 公募で選ばれたデザインでラッピングされた直行バスが、糸満市の観光資源を結び、ますます移動しやすくなります。
- 観光体験プログラムも多数ご用意いたします。
- 沖縄にいらっしゃった際は、ぜひ直行バスをご利用になり、「ひかり・みどり・いのりのまち糸満」をお楽しみ下さい。

皆様のお越しをお待ちしております。

■ 運行期間 平成27年5月～12月
※毎日運行

■ 運行時間帯 午前8時～午後8時

■ 運行間隔 1時間に1本

■ 料金 (1日フリー乗車券1,500円の予定)

那覇空港～糸満観光農園(約70分):790円程度
那覇空港～道の駅いとまん(約30分):490円程度

▲直行バス実証実験(試験運行)のご案内

※) 観光客へ示した観光プログラム

糸満市観光体験プログラム

※全てのコースに案内ガイドがつきます。

**① 海人糸満！海人工房資料館見学
& 日本最南端の駅魅力散策**

世界に誇る糸満漁業の伝統文化を次世代に継承する事を目的とした「糸満海人工房資料館」見学と隣接の最南端道の駅「道の駅いとまん」にて、糸満市の特産品や「お魚センター」にてお魚解体ショーなどを見学！

●期間: 通年
 ●所要時間: 2.5時間(バスの移動時間込)
 ●内容: 糸満海人工房(30分)⇒道の駅いとまん散策(45分)

まずはここから！
入門コース





**② 本島最南端の景色を満喫♪
～喜屋武岬・赤瓦の古民家などをめぐる～**

沖縄本島最南端の糸満市！喜屋武岬や国の登録文化財でもある赤瓦の古民家で、昔の沖縄を感じながらの食事。沖縄貝塚時代後期の遺跡「米須貝塚」を見学。そして、海人糸満で栽培盛んな海ぶどうの摘み取り体験♪

●期間: 通年
 ●所要時間: 5.0時間(バスの移動時間込)
 ●内容: 喜屋武岬(30分)⇒米須貝塚(30分)
⇒真壁ちな〜(60分)⇒海ぶどう摘み取り体験(30分)

ご夫婦・カップル
おすすすめ！





**③ 米須集落を満喫♪
～米須 村丸ごと生活博物館めぐり～**

米須集落の散策4コースや地域の食材を使ったお料理教室！糸満市南部にある米須集落を満喫出来るコースです！米須に生き、米須を愛するシマンチュがおもてなしの心で皆様をお出迎えします。

●期間: 通年
 ●所要時間: 3.0～4.5時間(バスの移動時間込)
 ●内容: 集落めぐり全4コースから選択(1コース90分)
地域料理教室(90分)
散策コース(1コース)と地域料理体験(3時間)

地元の人とふれあいたい人にオススメ





**④ 世界遺産になりたいな
～南山城跡散策～**

糸満市大里にある南山城跡を散策。大里は東に与座岳、西に南山城跡を望む位置にあり、「おもろさうし」に「おおさはとさからる かてしかわ みつからる」といわれ、長い歴史があり、豊富な水と自然に囲まれた、うるわしいしま(集落)です。

●期間: 通年
 ●所要時間: 5.0時間(バスの移動時間込)
 ●内容: 沖縄菩提樹苑(30分)⇒平和記念公園(2時間)

歴史・文化コース
お子様から大人まで





**⑤ 沖縄戦終焉の地を訪ねる
～戦跡めぐり、平和への願い～**

沖縄戦終焉の地として「世界の恒久平和を祈願し、発信する場所」糸満市にて戦跡巡りと平和を願う。さらに、第二次世界大戦で亡くなったすべての戦没者の慰霊の為、「フツクゆかりの聖なる菩提樹」の分け樹が贈呈され、2014年に植樹された「沖縄菩提樹苑」を見学。

●期間: 通年
 ●所要時間: 5.0時間(バスの移動時間込)
 ●内容: 沖縄菩提樹苑(30分)⇒平和記念公園(2時間)

平和学習コース
お子様から大人まで





**⑥ 旧暦文化のまち糸満を楽しむ
～糸満の旧暦行事・イベントに参加しよう～**

沖縄のなかでも独特の時間が流れている糸満。旧正月、糸満ハーレー、糸満大綱引など旧暦文化を大切にしています。また、エイサー祭り、爬龍舟フェスティバル、イルミネーションなど、1年を通して季節ごとの楽しいイベントがあります。

●期間: 各開催日
 ●所要時間: 平日～1日(バスの移動時間込)
 ●内容: 糸満ハーレー、大綱引き、イルミネーションなど
各行事・イベントに参加

地元伝統行事やイベントを体験したいひとにオススメ





Q. 糸満市内を周遊観光する際に利用しやすいと思う公共交通はどちらですか？

運賃はどちらも大人 230 円／回、運行間隔は 1 時間程度とします（市内のみ）

㊦ 路線バス型




● 起点・終点

● バス停・観光ポイント

— 走行経路

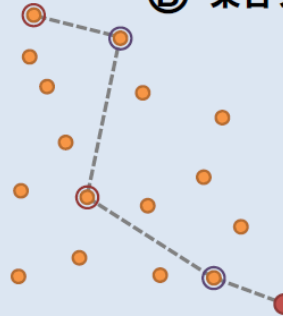
◎ 良いところ

- 予め決められた時間と経路（ダイヤ）で走っているため**事前予約が不要**
- ダイヤが決まっているため**目的地への到着時間が分かりやすい**

✕ 悪いところ

- 経路上の**決められた場所（バス停・観光ポイント）**にしか行くことができない
- 目的地まで決まった経路で走るため**迂回が多い**など**余計な時間がかかる**ことがある

㊧ 乗合タクシー型




● 乗合タクシー待機所

● 観光ポイント

● Aさんの乗降場所

● Bさんの乗降場所

◎ 良いところ

- 予約した出発地から**行きたい場所まで柔軟に連れて行ってくれる**
- 予約に応じて経路を決めるため**比較的 shortest 時間で目的地へ行ける**

✕ 悪いところ

- 電話などで乗降場所・人数などを伝え **30 分前に予約する必要がある**
- 一緒に乗り合う人数（予約件数）によっては**目的地への到着時間が変わる**ことがある

2) アンケート調査結果

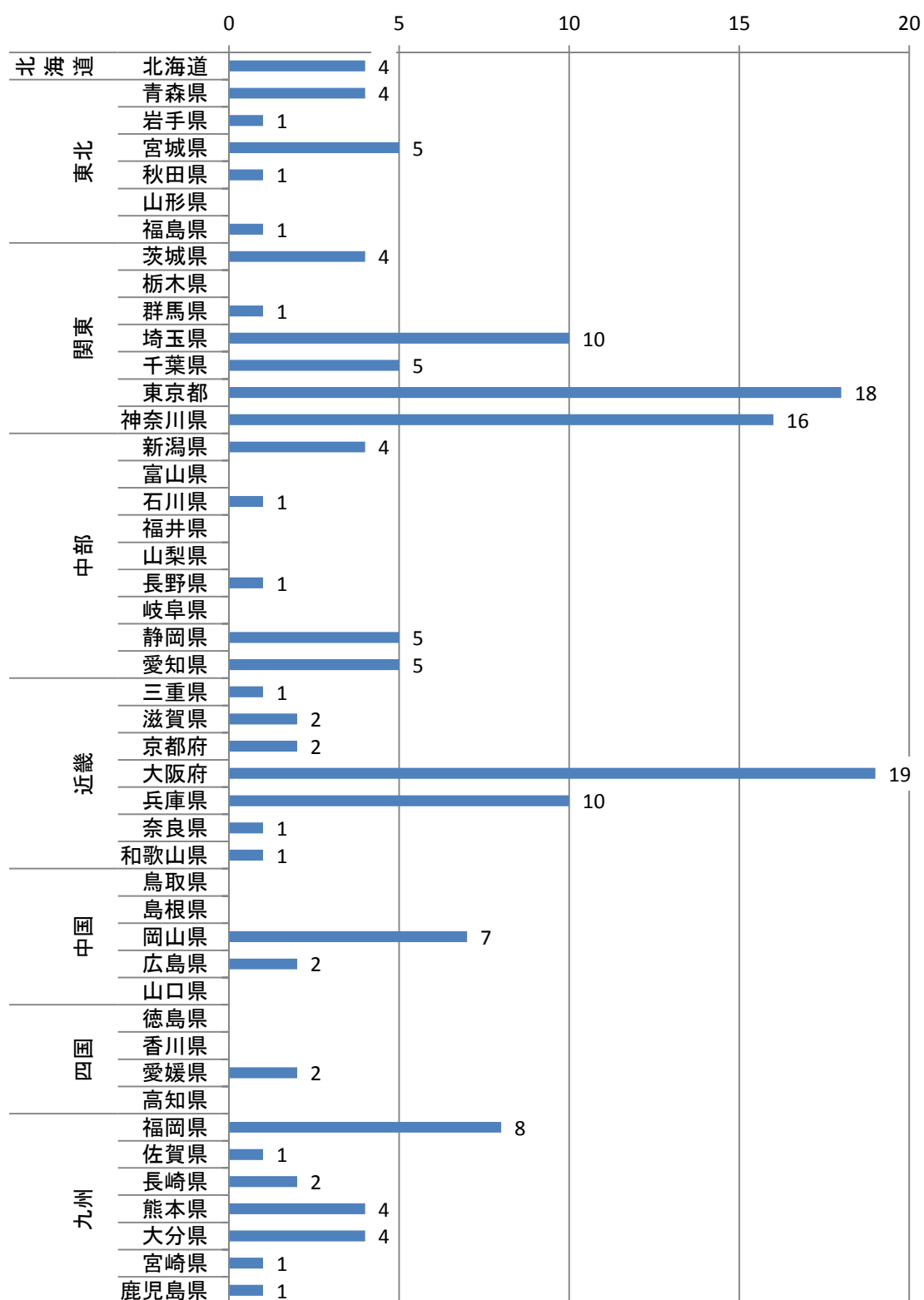
①観光客の属性

●回答者の居住地

今回の調査では 31 都道府県に居住する観光客からの回答が得られた。最も多かったのは大阪府であり次いで東京都、地方別でも関東・近畿に居住する回答者が多い傾向にある。この傾向は近年の入域観光客統計（沖縄県）でも東京・関西方面からの観光客が多いなど、同様な傾向が見られる。

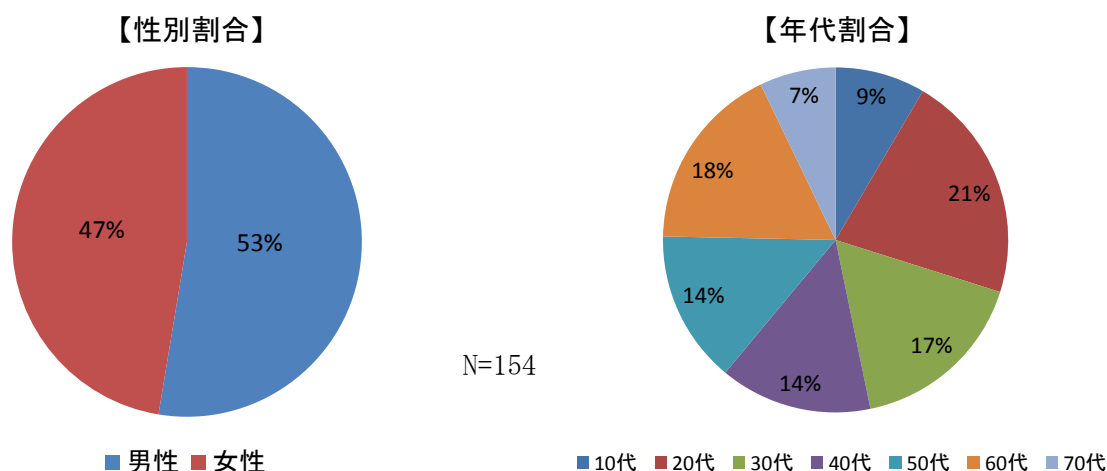
表 2-9 【回答者の居住地】

単位：人 N=154



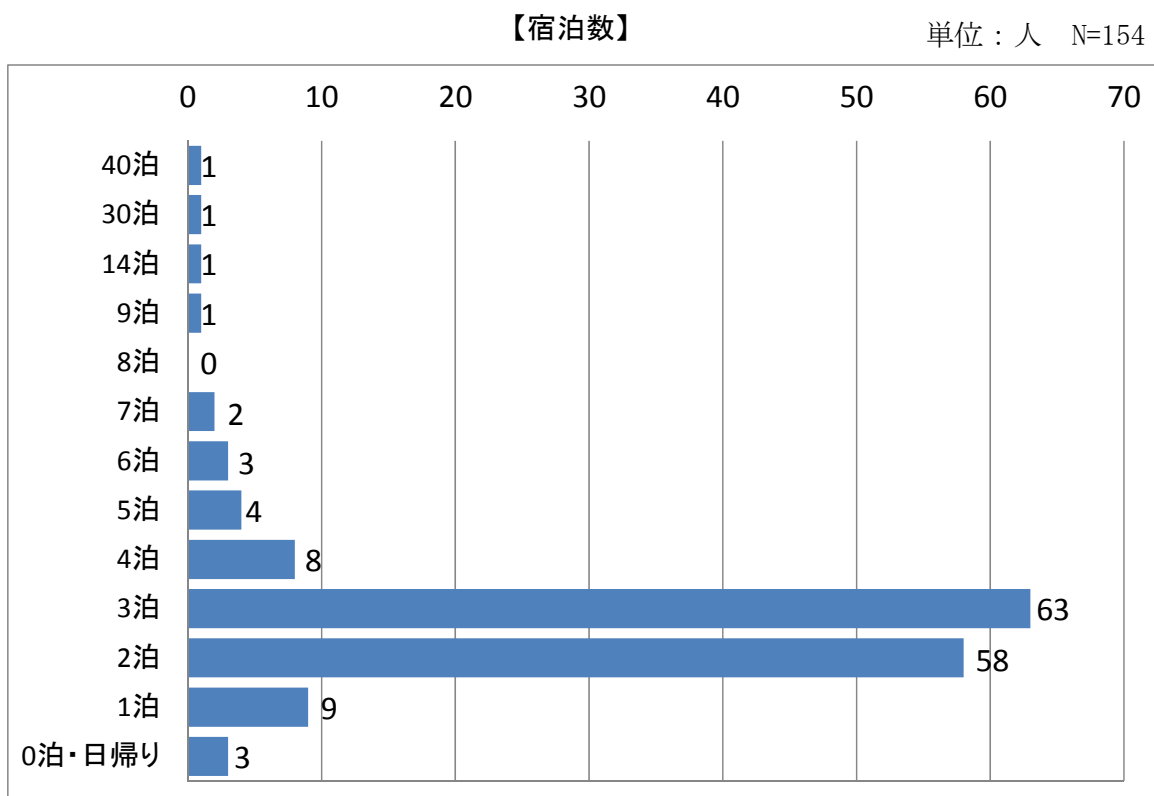
●回答者の性別・年齢

調査期間中は修学旅行生の姿が多く見られたものの、アンケート調査員の主観により偏りなく幅広い観光客へ協力を呼びかけた結果、概ね性別・年齢ともに均等な回答数を得ることができた。



●回答者の宿泊数

宿泊数は2泊・3泊が全体の約8割を占めており、僅かながら3泊が最も多い結果となっている。この傾向は観光統計実態調査（沖縄県 H24 年 8～9 月）と同様であり、同調査によると夏休み・マリンシーズン以外では2泊の観光客が最も多くなることが明らかになっている。



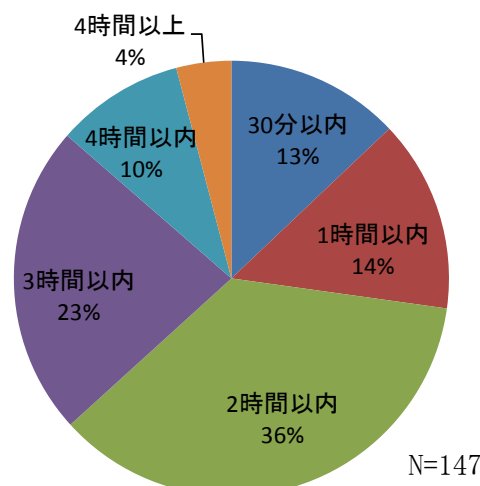
●回答者の空港滞在時間

空港での滞在時間で最も多かった回答は2時間以内であった。また、次に多い3時間以内の回答を加えると全体の約6割を占めている。

空港内でのショッピング・手続きに要する時間を最低1時間程度は必要であると考えた場合、あまり多くの余剰時間は無いことが考えられる。

そのため、今後の観光企画プログラムのプロモーションにあたっては、事前に旅行行程に組み込んで頂けるような広告・取組等が求められる。

【空港滞在時間の割合】



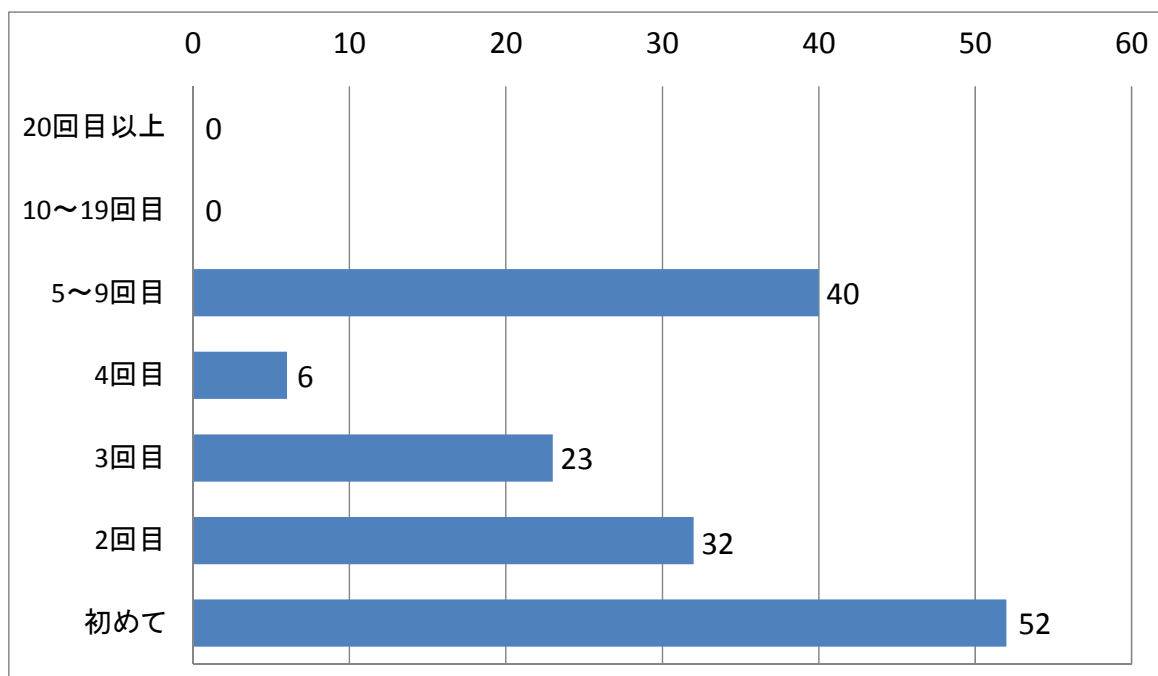
②沖縄旅行の経験

●訪問回数

沖縄への訪問回数では「初めて」が52人と最も多く、全体の約3割を占めている。なお、近年の観光統計実態調査（沖縄県）などでは初めて沖縄を訪れる観光客の割合は概ね2割弱程度であることから、本調査の結果は僅かに「初めて」沖縄を訪れた観光客の意見が多く反映されていると考えられる。

【訪問回数】

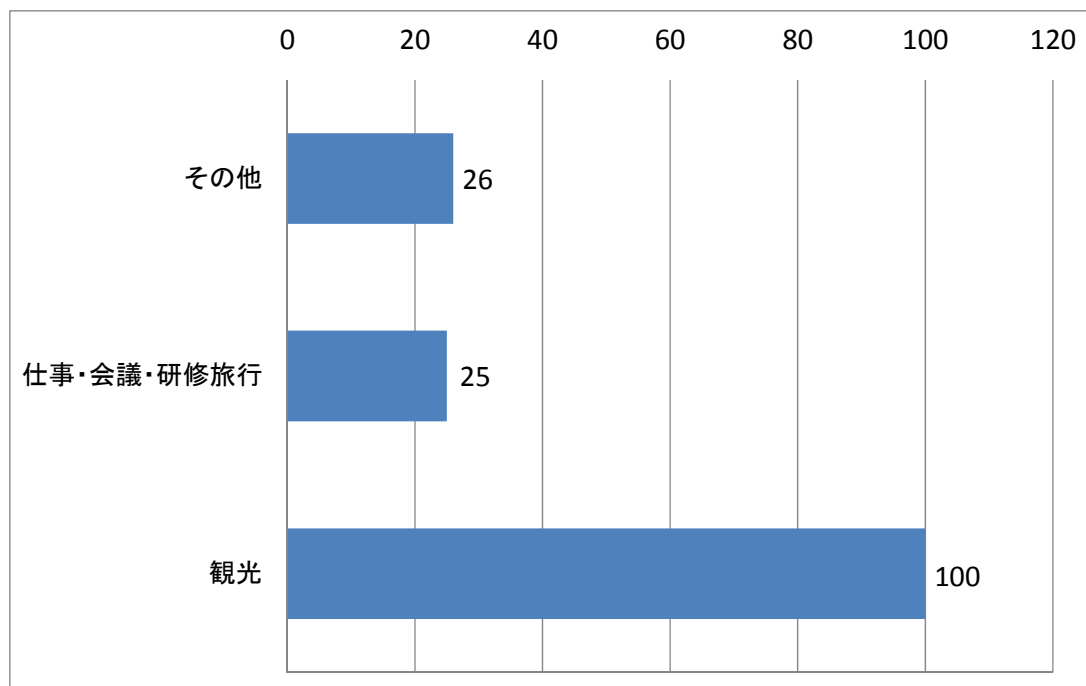
単位：人 N=153



●訪問目的

沖縄への訪問目的では「観光」が100人と最も多く、全体の約7割弱を占めている。なお、「その他」の回答の多くは「修学旅行」となっている。

単位：人 N=151



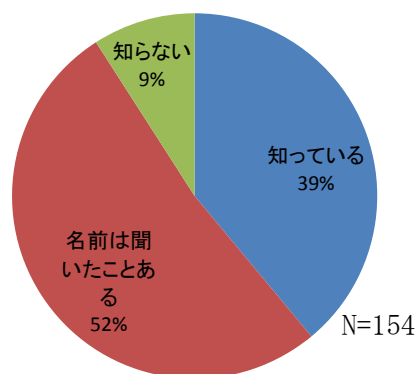
③糸満市について（認知、訪問経験、訪問意欲、イメージ）

●認知状況・訪問経験

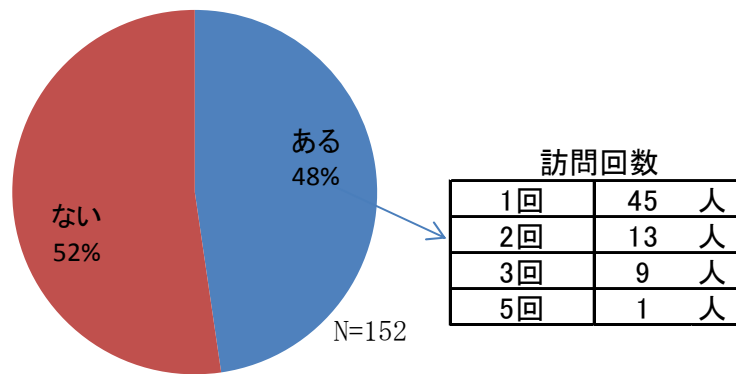
糸満市の位置を含め「知っている」とする観光客は約4割程度であり、約5割が「名前は聞いたことがある」と回答している。また、糸満市への訪問経験では約半数の観光客が訪れた事があるとしており、うち最も多い訪問回数は1回であった。

なお、今回の調査では糸満市を「知っている」人数（60人）よりも、糸満市を訪れた事が「ある」と回答した人数（72人）が上回っているが、これは後のヒアリング中に糸満市とは知らずに訪問していたことに気づき、訪問経験の回答を「ない」から「ある」へ修正した為である。※認知状況の回答は修正していない。

【認知割合】

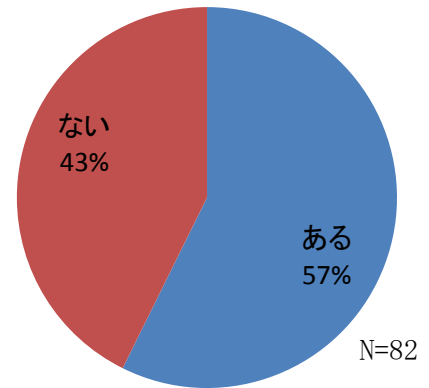


【訪問経験割合】



●訪問意欲

糸満市に訪れた事がないと回答した観光客のうち、今後糸満市へ行ってみたいと思った事が「ある」と答えた回答者は約6割弱であった。



●糸満市のイメージ

糸満市に対するイメージを聞いたところ、「戦争、ひめゆり、平和」など戦跡に関する意見が多く見られた。以下に原文のまま掲載する。

No	糸満市のイメージ(自由回答) 1/2
1	戦争、高校野球
2	戦争があった。高校野球で甲子園へ行った。
3	ハーレー、ひめゆりの塔
4	戦争、ひめゆりの塔
5	ファーマーズマーケット。交通の便が悪い。
6	ひめゆり、戦争
7	戦争、漁業
8	戦争
9	平和学習
10	マグロ基地へ行った。今からかな？まだ何もない感じだった。
11	名前くらい
12	平和、ひめゆり、道のえきいとまん
13	戦跡、工業団地
14	戦跡、激戦地
15	戦争
16	沖縄戦、ひめゆりの塔
17	糸満そば
18	海に面している
19	沖縄戦
20	30年前は戦跡しかなかった。
21	戦跡、ひめゆり、アウトレットモールは糸満？
22	ひめゆり、ガマ、サザンビーチホテル
23	ひめゆり、戦跡のイメージしかない。食べ物も知らない。
24	ニュースで知っている。位置まではわからない。
25	修学旅行で戦跡に行ったはず。でも、糸満だったかどうかはわからない。
26	浜、ビーチ、海岸(ありのままの自然)、特にガイドは大切。歴史学に詳しいガイドがよい。 今回自分達の足で路線バスを使って平和祈念資料館～ひめゆりをゆっくり行くつもりだったが、バスの連絡が悪く、結局タクシーを途中から使った。ひめゆりにも行けず終わった。タクシー運転手のガイドはとても詳しく良かった。 観光地のある街なのに、これではまわりたくてもまわれない。ちょうど意見したかったところ。平和祈念資料館は3時間しか入れなかったのもまた来る。

No	糸満市のイメージ(自由回答) 2/2
27	思ったより観光地がない(前回レンタカーでぶらりと)
28	通過点
29	野菜、おいしい葉物野菜
30	子供さんが小さく騒いでしまうといっけないので、今回は戦跡は選ばなかったが、成長したら連れて行きたい。
31	ひめゆり
32	ひめゆりの塔が糸満市にあることを初めて知った
33	平和、沖縄戦
34	漁港、ガラが悪い
35	今は糸満について知らないのですが、行きたいかと言われると悩むが、何があるかがわかれば、ぜひ行ってみたいと思う。ひめゆりの塔、戦跡がある場所と説明したら、それなら、ぜひ行ってみたい答えて下さいました。
36	戦争
37	糸満スイミングクラブ、水泳
38	何かありますかー
39	礎、平和
40	戦争
41	民泊、海、ビーチ
42	ひめゆりの塔、戦跡
43	平和
44	海
45	重たい、平和
46	重たい、暗い
47	スイミング、戦跡 (フクオカにあるらしい)
48	さみしい、、かな
49	平和祈念公園がすごい、戦
50	チャキチャキ、人が良い
51	戦争のイメージ
52	高校野球
53	ひめゆり
54	うみんちゅのまち、魚
55	戦争
56	戦争のイメージ、のどか、あつい、海
57	戦跡
58	いい感じ
59	戦跡
60	のどか、戦跡、豊崎
61	戦跡
62	良かった
63	怖い、悲しい
64	戦跡
65	のどか、戦跡、豊崎

④観光プログラム素案への観光客の意向

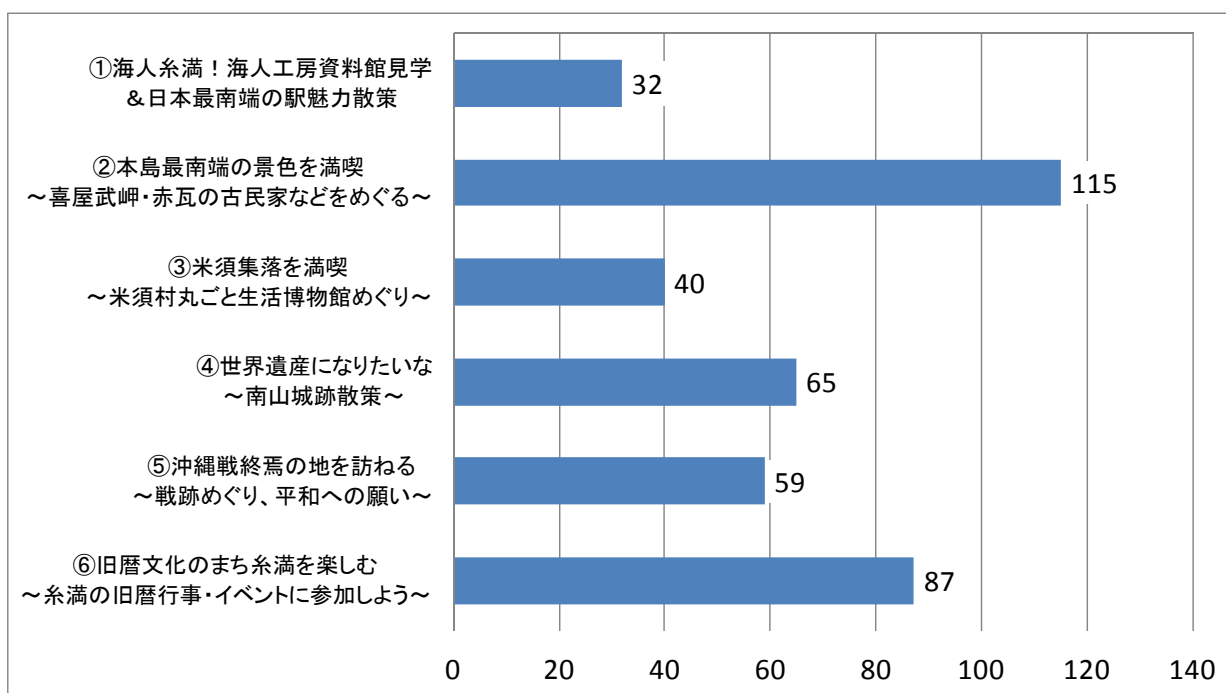
●興味をもった、参加してみたい観光プログラム

検討された観光プログラム素案に対して、最も興味があり参加してみたいと回答したのは「②本島最南端の景色を満喫 ～喜屋武岬・赤瓦の古民家などをめぐる～」であり、次いで「⑥旧暦文化のまち糸満を楽しむ ～糸満の旧暦行事・イベントに参加しよう～」であった。

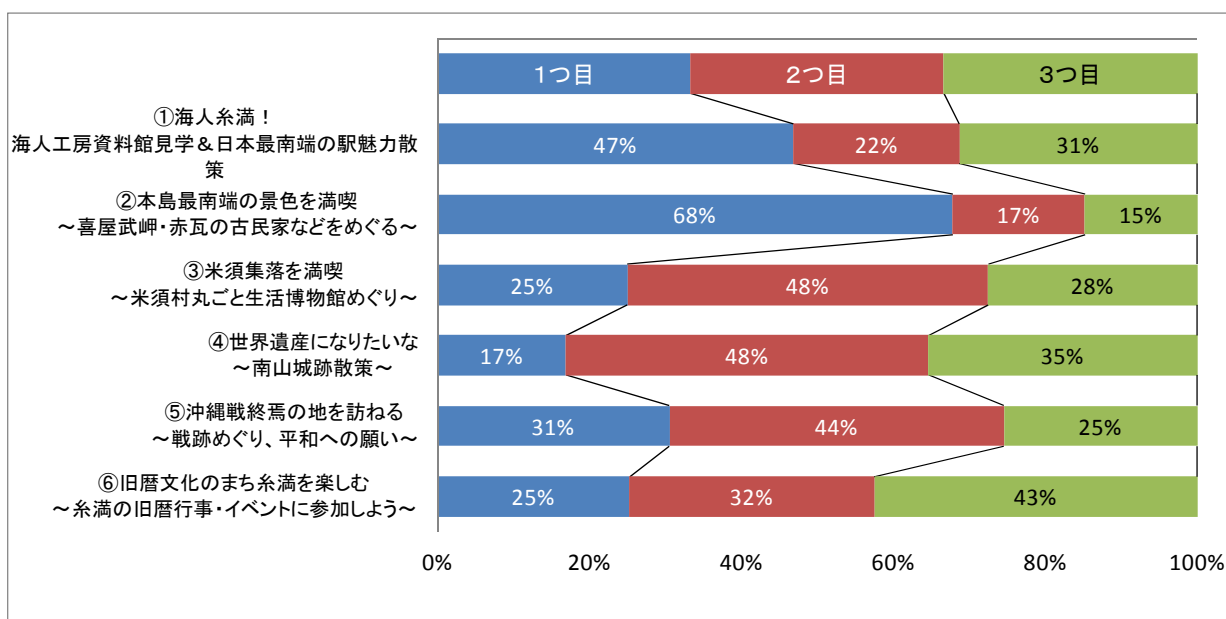
これらの結果から、観光客の多くが「景勝地」や「地域文化イベント」に大きな魅力を感じている事がうかがえる。

また、「①海人糸満！海人工房資料館見学&日本最南端の駅魅力散策」については回答件数では全体で最下位であるものの、その優先度内訳を見ると1番目に興味を持ったプログラムとする回答割合が多いことから、観光資源としてのポテンシャルがうかがえる。

【全体集計】



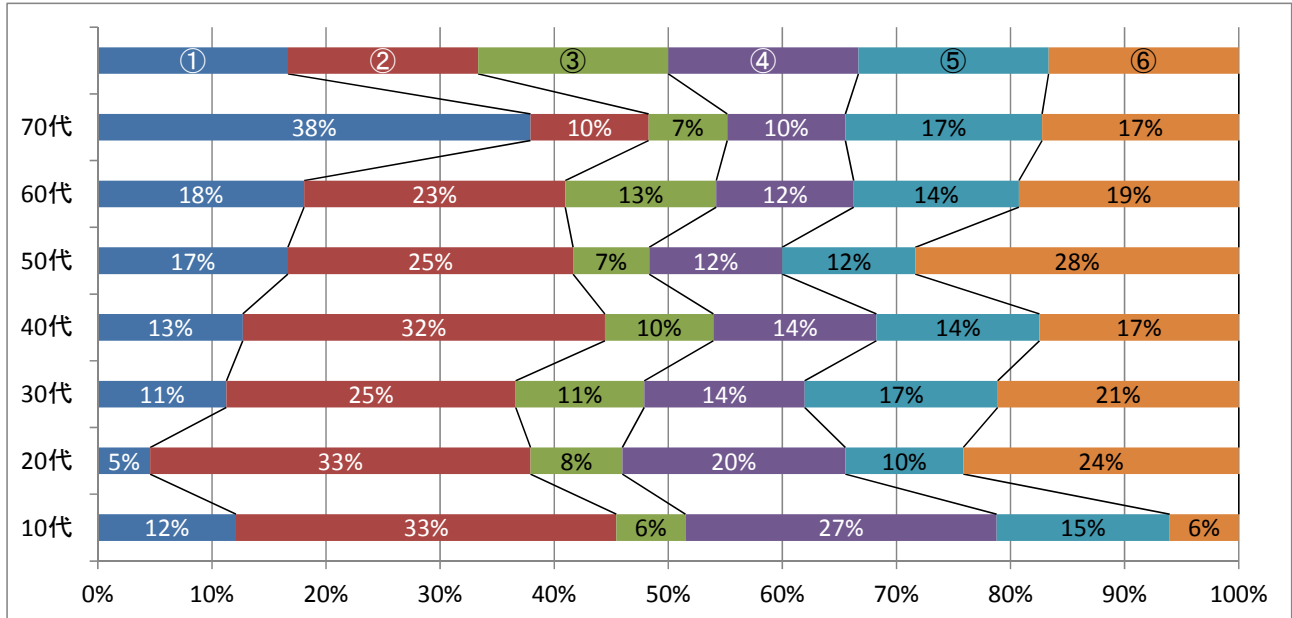
【優先度内訳】



各観光プログラム素案に対して参加してみたいとする回答者の年代構成比を比較したところ、10～40代に人気があったのは「②本島最南端の景色を満喫」であった。

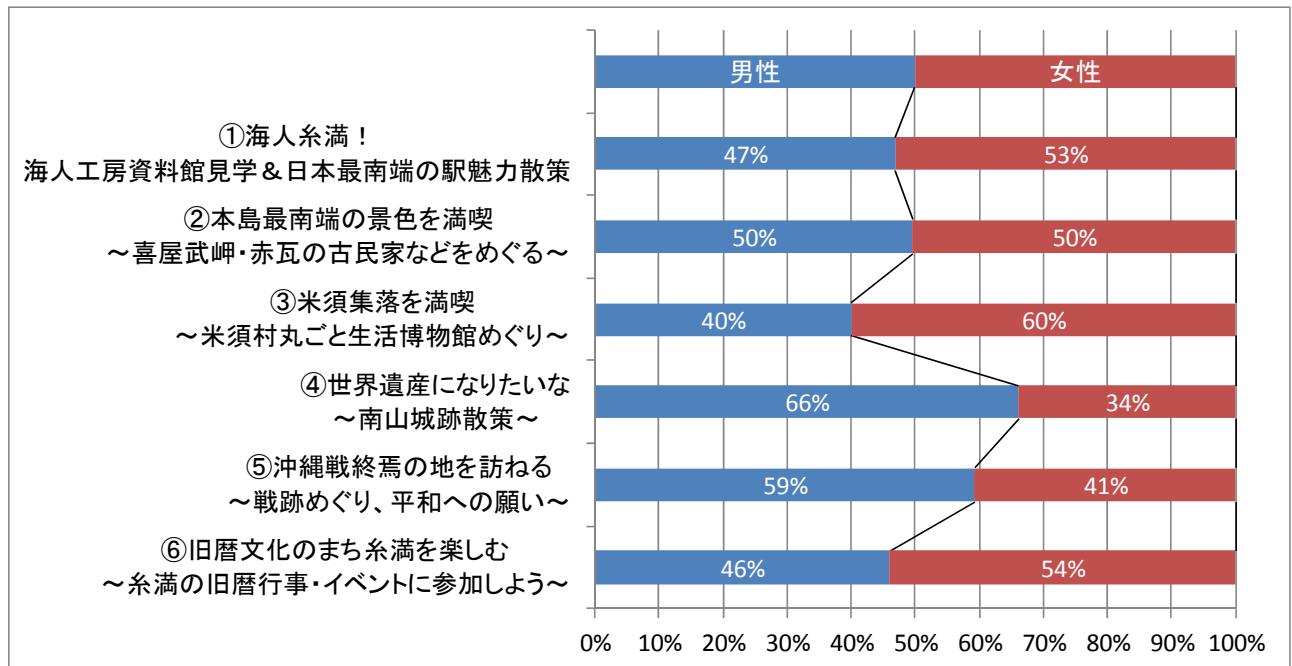
また、「①海人糸満！」については比較的高齢者の方々に人気があり、「⑥旧暦文化のまち糸満を楽しむ」では50代からの人気が高い。

【年代別集計】



性別による傾向を比較した結果、「③米須集落を満喫」では女性からの人気が高く、「④世界遺産になりたいな」では男性からの人気が高い傾向にあった。

【性別毎集計】

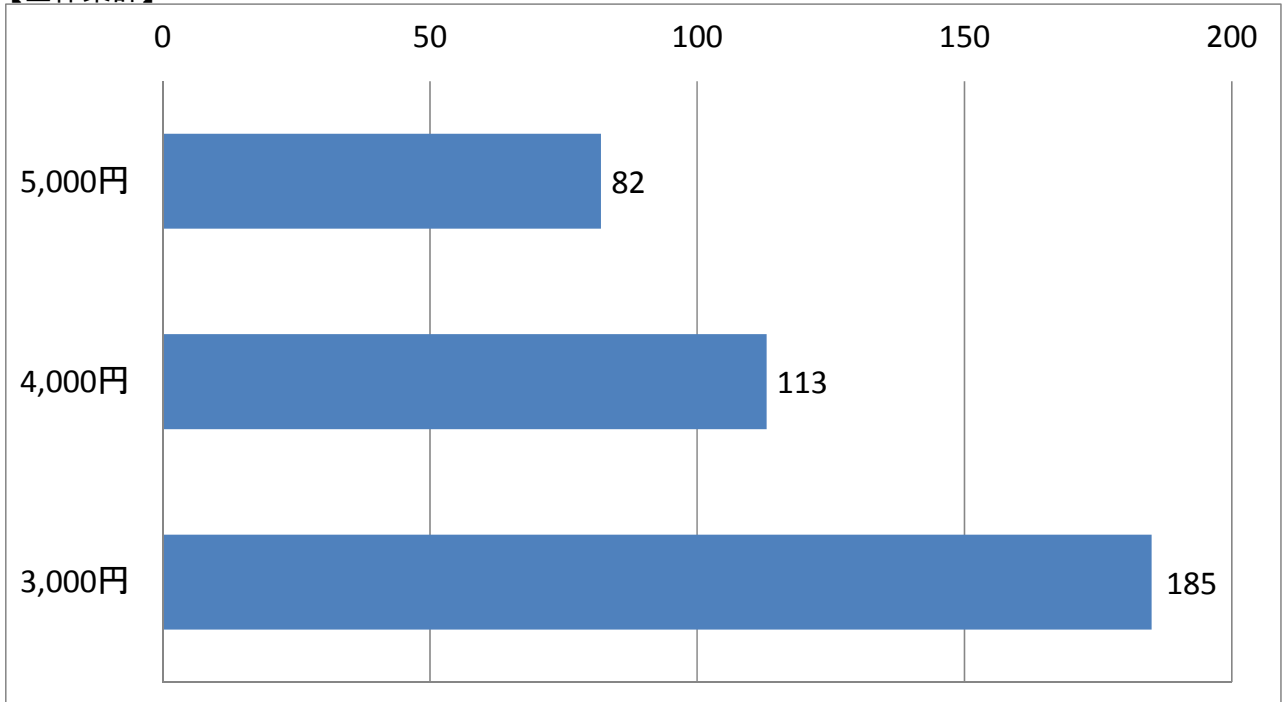


●支払意志額

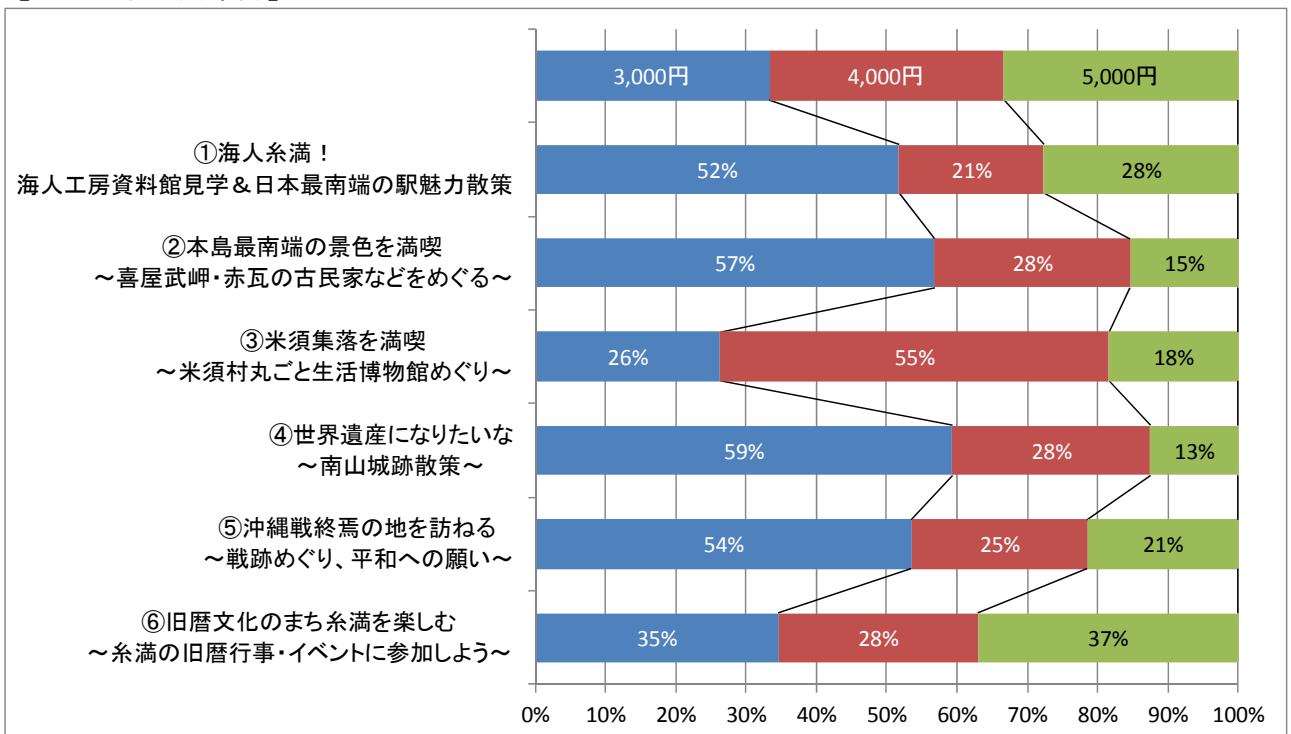
各観光プログラム素案に対する支払意志額(支払っても良いとする金額)は全体では3,000円が185件と最も多い結果となった。

観光プログラム別集計では「③米須集落を満喫」や「⑥旧暦文化のまち糸満を楽しむ」に対する支払意志額が高く、最も人気の高かった「②本島最南端の景色を満喫」では支払意志額が低い傾向にある事が明らかになった。

【全体集計】



【プログラム別集計】

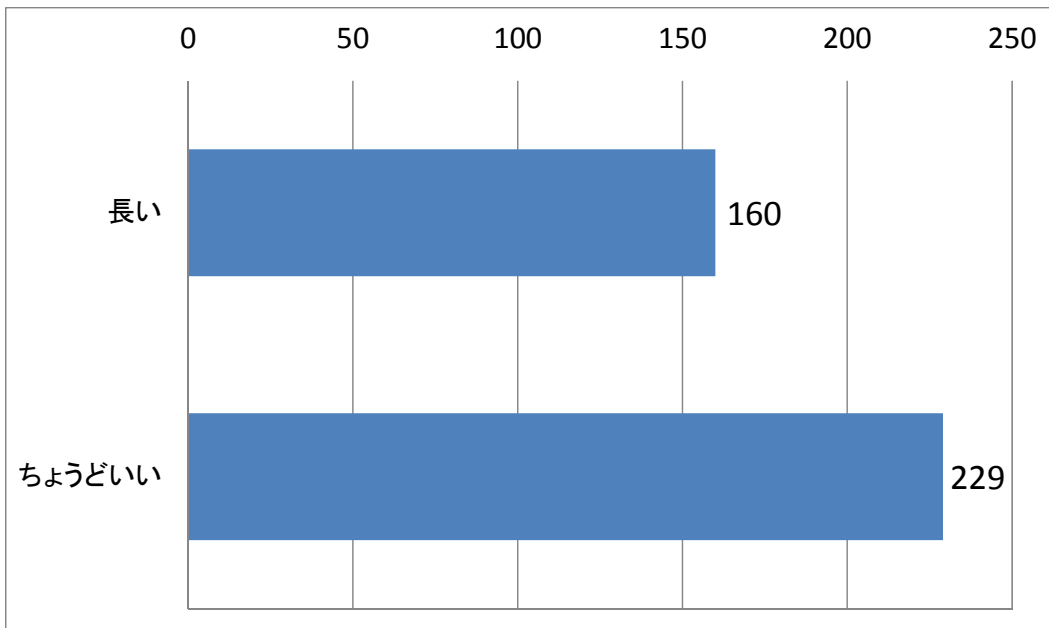


●許容できる参加時間

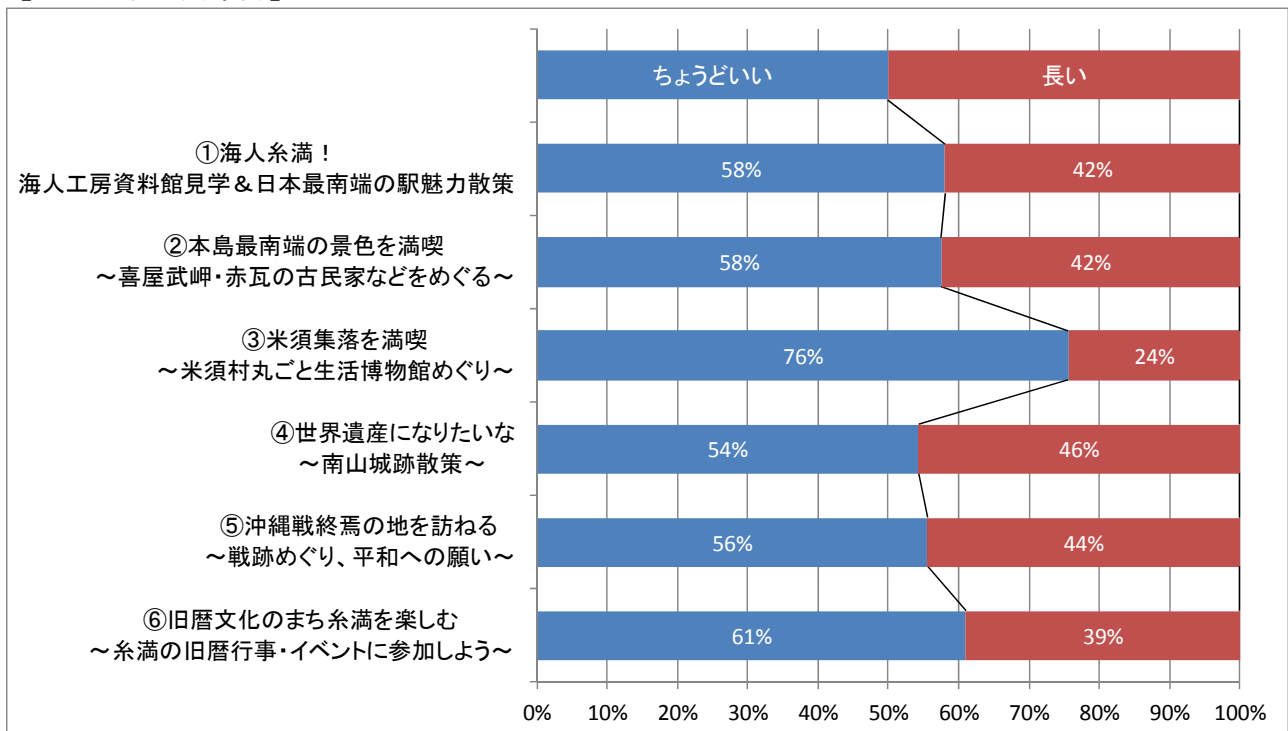
各観光プログラム素案に対する参加時間（所要時間）については、全体集計では「ちょうどいい」時間であるとする意見が 229 件と多いものの、約 4 割に相当する 160 件が「長い（所要時間が長すぎる）」との回答であった。

観光プログラム別集計では「③米須集落を満喫」を選んだ観光客の 7 割以上が「ちょうどいい」としており、比較的時間をかけてのんびりとした散策に魅力を感じている事が伺える。一方、それ以外では概ね意見が分かれており、プログラムの所要時間設定にあたっては、今後見直しに向けて取り組む必要があると考えられる。

【全体集計】



【プログラム別集計】



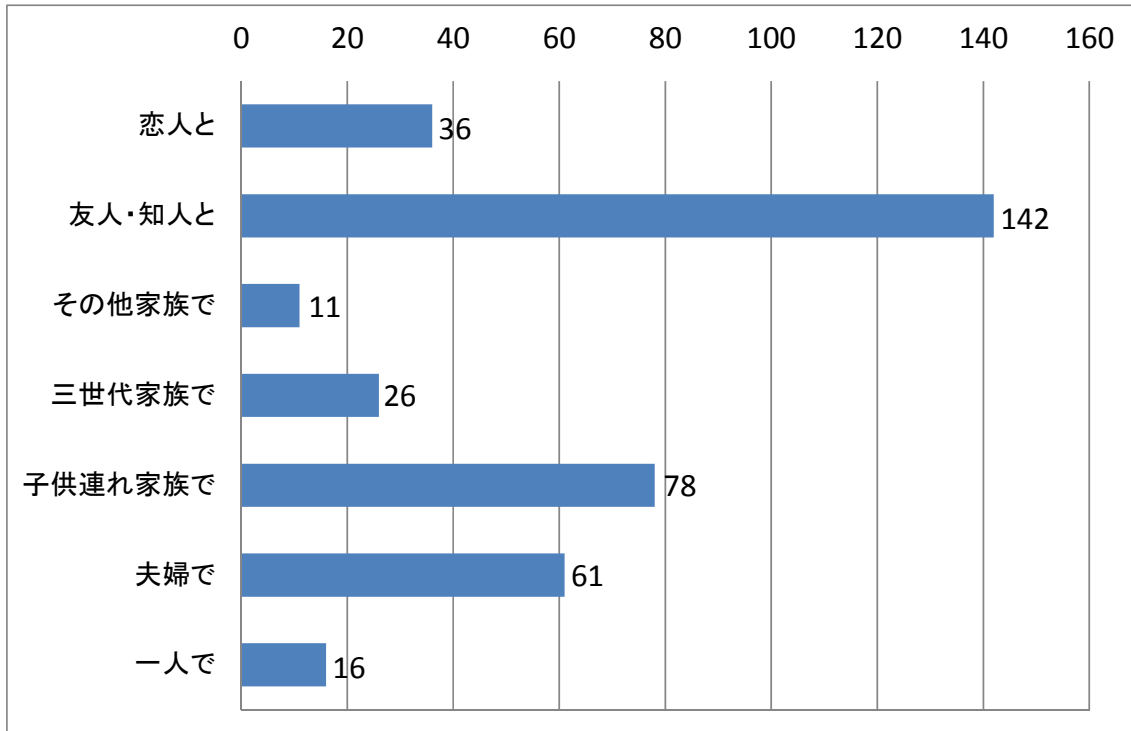
●一緒に旅行してみたい人

各観光プログラム素案に対して、一緒に旅行（参加）してみたい人について聞いたところ全体では「友人・知人と」と回答する観光客が142件と最も多い結果となった。

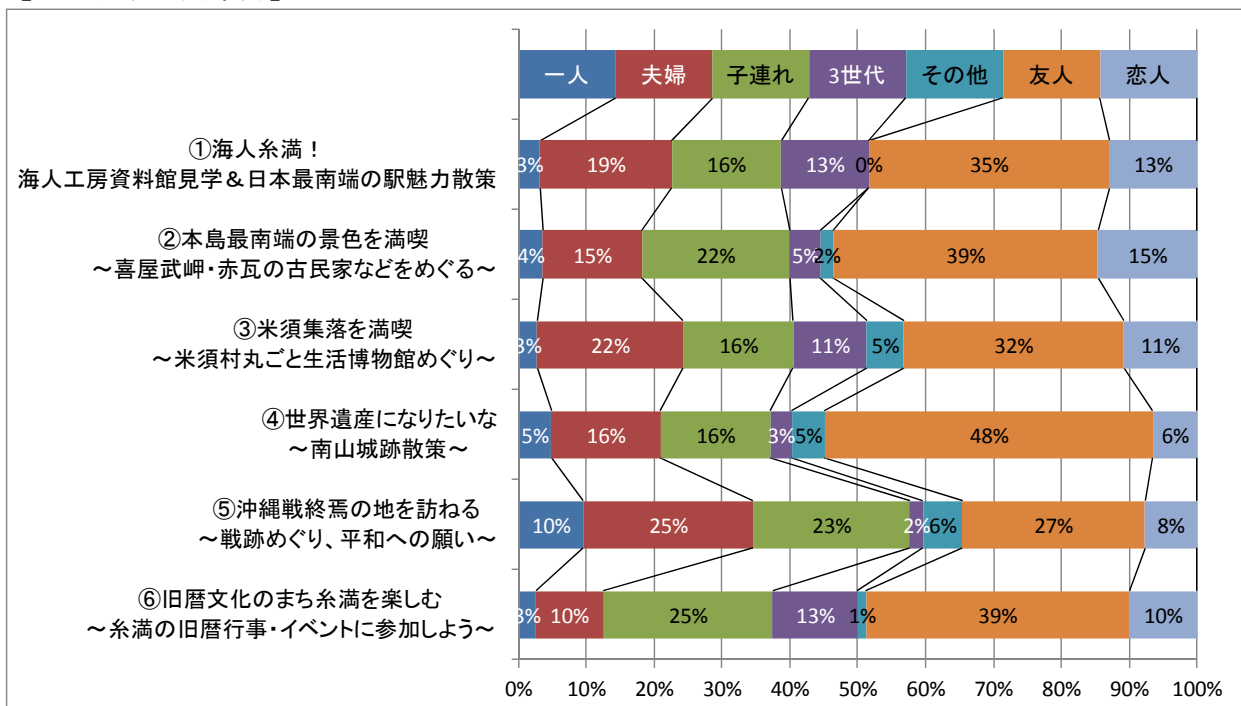
観光プログラム別集計で人気の高かった「②本島最南端の景色を満喫」に対して「恋人」と行きたいとする意見が他プログラムに比べて多い。また、「⑤沖縄戦終焉の地を訪ねる」に対しては「一人で」「夫婦で」行きたいとする意見が多く見られた。

「3世代家族」に人気が高かったのは「①海人糸満!」「⑥旧暦文化のまち糸満を楽しむ」であり、より子供から高齢者まで楽しめるプログラムへの見直しが重要であると考えられる。

【全体集計】



【プログラム別集計】



●おすすめポイント・オリジナル企画

回答者に糸満市のおすすめポイントや、参加してみたいと思うオリジナルの観光プログラム企画案などについて、自由な意見を伺った。以下に原文のまま掲載する。

オリジナル企画やおすすめポイント	
1	体験談を聞く。自然を満喫したい。老人の方への対応、トイレへも自由に行ける。
2	壕の中に入ってみたい。ひめゆりの塔では記念資料館の中に入ってみたい。戦争のときのひめゆりの人の体験談をききたい。
3	景色。目で見ると、楽しむ糸満があればいい
4	やっぱり交通の便。
5	観光は北の県へ行くので沖縄も頑張って、南の方へも観光出来るようにしてください。
6	観光プログラムに＋軽食があればいい。沖縄ならではの
7	乗り降り自由で、乗り放題のチケットが欲しい。
8	プログラムが1つではなく、2つ、3つ選ぶことが出来ればいい。1か所より、2、3か所行った方がお得というプランもいい。
9	②＋⑤も計画してほしい。
10	直産で料理が食べられたら良い。サトウキビや、手作りのサーターアンダギーとか作っていることがあればよい。
11	体験がしたい！何か作りたい。シーサーとか。
12	ガラスづくりとかあれば、体験したい。
13	ガラス作り、シーサー作りはお土産になるのでいい。
14	ガラス体験、物産とかに立ち寄ったり。道の駅いとまん
15	何か作って持って帰る。体験ができたらい。見るだけならいらない、おもしろくない！
16	体験が入っている。沖縄らしい食べ物。サトウキビの何かがはいってれば。
17	体験
18	体験したい・地元の人とのふれあい・三線やおどり地元がやっているのを見たい・イメージとちがってさっぱりしていた。
19	ガラス作り体験できたら 沖縄でしかできないこと
20	東シナ海を眺めながらねそっべていたい。
21	糸満ならではの景色を楽しむ
22	エイサー鑑賞
23	マリン体験
24	マリン体験
25	レンタカーではない場合、交通機関の手配に不備があると予定が狂ってしまうので、きちんとした事前確認をしてほしいと思う

オリジナル企画やおすすめポイント	
26	体験がしたい！シーサーづくりとか。4泊くらいなら企画もトライしたい。歳をとったら泊まりたい所にとまって気ままに旅したい。
27	南山を知らなかった。お魚センターは良いと思う。
28	美ら海水族館はすばらしい。ネット情報が乏しい。ゴルフ場＋食事のプランが糸満でできないか。「いけすの銀次」みたいな損してもパイを広げるような活動が必要。
29	どうしても北部。リゾートホテルがキレイでたくさんあるから。
30	水族館、ニライカナイ橋はいつもいく。いつもまずは北上して、その次に南部にいったり帰る。
31	東村の民泊体験とても楽しかった。
32	・マリンスポーツが目的でない観光者も実際にキレイな海岸におりることのできるコースがあればうれしい。あまり観光化せず、ありのままで美しい。 ・琉球について歴史学者の話がきけるコースもほしい。 ・ガイドは熟練者がいい。
33	・南部の海をもっと紹介してほしい ・海が好きだから北部に行ってしまう。 ・出発までの空き時間にひめゆりに行こうかなと思ったが、アクセスがなくあきらめた。
34	カーリー染めの体験興味がある(ガイドブックを見て)。 空港での乗り継ぎで時間を持て余す人が多いので、道の駅往復バスとかあればいいと思う。
35	景気 ドライブして海をみるのが好きなので、特になし
36	体験型がいい。思い出も記念品も残るから。
37	地元とは違う景色を楽しめるもの
38	沖縄＝那覇、糸満市は戦跡
39	外のコースとも合わせて欲しい
40	マリン体験、夕日をみたい
41	今のままで良い
42	沖縄料理を堪能するコース、海を楽しむコースがあればいいと思う。
43	水族館が良かった(沖縄県内で)
44	平和関係をぜひ
45	本当にこの時間に帰ってこれるのか？ バス・タクシー・空港もすべてクーラーが効きすぎて寒い
46	石垣島(竹富)であった自転車めぐりが良かった。
47	特徴ある記念品があるところが良い。例えば、星砂、海ぶどう(とれたて)、オリオンビールのグッズ。リコメントできるものがあると良い。→サービス券を知人に渡す
48	沖縄は海！！ サンゴがすごい
49	晴天の日に自転車ツアーなど
50	料理

オリジナル企画やおすすめポイント	
51	沖縄は雨が多いので、室内プラン
52	雨のシュノーケル
53	パイナップル体験
54	海
55	乗り物がダサイ、見た目がイヤ、ハズカシイ
56	海
57	イベント
58	沖縄料理
59	小さい子供連れのもの、授乳場所 海の生き物とのふれあい(イノー体験)
60	海で遊ぶツアー、シーズンオフでも
61	離島ツアー
62	幼児向け施設が少ない
63	保全地区を作るべき 自然を大切にしてほしい、サンゴの保存、立入禁止の徹底 50年、100年先を考えて
64	プログラムの2+3で6時間コースとか
65	マリン・ダイビング・海 その日に予約できる
66	バスの本数が少ない 雨天のツアー、当日ツアーが欲しい 人気の店が入れなかった
67	体験(ガラス等)
68	いなか、見るところが少ない、アピールがない
69	ゆっくりプラン
70	バスは団体でも乗れると良い
71	バスで糸満市内のホテルに帰れると良い